asumo

AI900システムコントローラ
AI－900SC

取扱説明書



技術基準適合認証品

このたびは、ネットワークシステム　AI900をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。

お読みになったあとも、本装置のそばなどいつも手元に置いてお使いください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本装置を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

また、本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所にお問い合わせいただくか、お買い求めになった販売店でお求めください。

本書中のマーク説明

警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷(*1)を負う危険が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害(*2)を負う可能性が想定される内容および物的損害(*3)のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。

*1: 重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものをさします。

*2: 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などをさします。

*3: 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

注意

この装置は、一般財団法人 VCCI協会の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

ご利用にあたってのお願い （免責事項について）

- 本装置の仕様は国内向けとなっております。海外ではご利用いただけません。
  This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

- 本装置の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信、録音などの機会を逸したために生じた損害、または本装置に登録された情報内容の消失などにより生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本装置に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いします。

- 本装置は、お客様固有の情報を保存または保持可能な商品です。本装置内に保存または保持された情報の流出による不測の損害などを回避するために、本装置を廃棄、譲渡、返却される際には、本装置内に保存または保持された情報を取扱説明書「**廃棄（または譲渡、返却）される場合のご注意**」にしたがって消去願います。

- 本装置の設置工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事、修理は違法となりまた事故のもととなりますので絶対におやめください。

- 本装置を分解したり改造したりすることは、絶対に行わないでください。

- 本書に他社製品の記載がある場合、これは参考を目的としたものであり、記載製品の使用を強制するものではありません。

- 必ずこの取扱説明書をよく読み、理解したうえでお使いください。

- 装置の外観および機能などの仕様、また本書の内容は、改良の目的でお客様にお知らせすることなく変更される場合があります。

- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申しつけください。

- 本書の内容及び製品のハードウェア、ソフトウェアについては、将来予告なしに変更することがあります。

- 地震・雷・風水害などの自然災害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意・過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- 本装置の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（情報内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- 本書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- 当社指定外の接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- 本装置の故障・修理・その他取扱いによって、ダウンロードされたデータなどが変化または消失することがあります。その結果生じた損害・逸失利益に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- 本書に、他社商品の記載がある場合、これは参考を目的としたものであり、記載商品の使用を強制するものではありません。

- お客様ご自身で登録された情報内容は、故障や障害の原因にかかわらず保証いたしかねます。情報内容の変化・消失に伴う損害を最小限にするために、重要な内容は別にメモを取るなどをして保管してくださるようお願いいたします。

- 本装置の通話は盗聴されにくくなっていますが、通常の手段を超えた方法で第三者が故意に通話の内容を傍受する場合が、全くないとはいえません。この点を十分に留意してご使用ください。

・ 本製品で使用しているソフトウェアプログラムには、Linux OS が使用されています。Linux は、GPL（GNU General Public License）の条件の下で利用が認められたソフトウェアが含まれおり、本製品はGPL に準拠しております。

GNU General Public License

http://www.gnu.org/licenses/gpl.txt (GPL 原文)

http://www.gnu.org/licenses/licenses.ja.html (ライセンスについて：日本語)

GPL に従う限り本製品のソースコードを無償で利用することができます。ソースコードの入手など、詳しくはテクニカルサポートにお問い合わせください。

This program is free software: you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation, either version 3 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

See the GNU General Public License for more details. You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program. If not, see < http://www.gnu.org/licenses/ >.

・ 記載しているWebブラウザなどの画面はイメージを説明したものです。実際の画面と相違している場合がありますので詳細は実機にてご確認ください。また、機能向上のためWebブラウザなどの画面は予告なく変更される場合があります。

・ Microsoft、Windows XP は、米国および他の国の Microsoft Corporation の登録商標または商標です。Ethernet は、米国 XEROX 社の登録商標です。イーサネットは、富士ゼロックス社の登録商標です。その他の社名および製品名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。なお、本文中には™ 及び ® の記載は明記しておりません。

設置について



警告

- 本装置、電源アダプタ、モジュラージャックや電話配線のそばに、水や液体の入った花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。本装置、モジュラージャックや電話配線に水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入ったりした場合、火災・感電の原因となることがあります。
- 本装置や電源アダプタ、その他のコード類は次のような環境に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
  - 直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーなどの近くや屋外などの温度の上がる場所。
  - 調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所。
  - 湿気の多い場所や水･油･薬品などのかかる恐れがある場所。
  - ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所。
  - 製氷倉庫など、特に温度が下がる場所。
- 次のような設置のしかたはしないでください。装置の内部に熱がこもり、火災や感電、故障の原因となります。
  - 本装置に布などをかける。
  - 本装置の周りに物を置く。
  - 本装置を風通しの悪い狭い場所に押し込む。
  - じゅうたんや布団の上に置く。
- 火気の近くには置かないでください。本装置の破損や火災の原因となりますので、絶対に避けてください。

お取り扱いについて



警告

●	電源はAC100Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
●	電源プラグは電源コンセントの奥まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、火災・感電の原因となることがあります。
●	テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。
●	本装置から異常音がしたり、本体が熱くなっている状態のまま使用したりすると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに本装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に点検をご依頼ください。
●	本装置、モジュラージャックや電話配線に水をかけたり、ぬれた手での操作や電源プラグの抜き差しをしないでください。火災・感電の原因となることがあります。
●	本装置の開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入ったときは、電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
●	寒い戸外から急に暖かい室内に本装置を持ち込むと、急激な温度変化により、本装置内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。結露が生じたときは電源を切って水滴が蒸発するまでしばらく放置して置いてください。結露したままでお使いになると、故障の原因となります。
●	電源アダプタは、必ず付属のものを使用し、それ以外のものは絶対にお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。
●	万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに本装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認し、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
●	本装置をねじったり、重い物をのせたり、強く押し付けたりして、圧迫しないでください。破損して、火災・やけど・けがの原因となることがあります。

お取り扱いについて



警告

●	万一本装置を落としたり、装置内部、モジュラージャックや電話配線に水などの液体が入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
●	本装置を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理は当社のサービス取扱所にご依頼ください。（分解、改造された装置は修理に応じられない場合があります）。
●	本装置の配線、電源アダプタのコードなどを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりするとコードおよび配線が破損し、火災・感電の原因となることがあります。コードおよび配線が傷んだら、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
●	電源アダプタコードおよび本装置までの配線などが傷んだ状態（芯線の露出、断線など）のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
●	近くに雷が発生したときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜き、ご使用を控えてください。また、雷が激しいときは、本装置に接続しているケーブルに触れないでください。雷による火災・感電の原因となることがあります。
●	本装置、電源アダプタコード類を熱器具に近づけないでください。本装置や電源アダプタコード類の被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
●	電源プラグを電源コンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源アダプタコードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがあります。
●	電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してから電源コンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源プラグを電源コンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより、火災・感電の原因となることがあります。なお、点検に関しては当社のサービス取扱所にご相談ください。
●	お客様が用意された機器を本装置に接続してお使いになる場合は、あらかじめ当社のサービス取扱所にご確認ください。確認できない場合は絶対に接続してお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。
●	故障したまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご相談ください。
●	中古品をオーバーホールなどによって再生して使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
●	改造された機器をつながないでください。火災・感電・故障の原因となります。

設置について



注意

●	本装置は次のような場所に置かないでください。落ちたり倒れたりしてけがの原因となることがあります。 ・ ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所。 ・ 振動、衝撃の多い場所。
●	本装置を壁掛け設置する場合は、取扱説明書に従い、専用の取り付け用品によりしっかりと固定設置してください。固定が不十分な場合、落下、転倒の原因となることがあります。
●	屋外に渡る配線は行わないでください。特に、建物から建物へ空中を通す配線は雷などによる故障の原因となることがあります。
●	本装置を重ね置きしないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下してけがの原因となります。
●	高い信頼性を要求される、幹線通信機器や電算機システムでは使用しないでください。社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。

お取り扱いについて



注意

●	本装置の上に重い物をのせないでください。バランスがくずれて落下やけがの原因となることがあります。
●	本装置に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。
●	本装置を長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
●	本装置を横置きでご使用になる場合、底面には、ゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。
●	本装置をお手入れ、または移動するときは、安全のため必ず電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてから行ってください。
●	本装置は高度な技術によって構成された精密機器です。より安心して使用していただくためには、当社の定期点検をお受けすることをお勧めします。詳しくは、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。

設置について



- 本装置を電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください。（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、インバータエアコン、電磁調理器など）
  - 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音等が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります。
  - テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
  - 電磁波が強すぎるときは、本装置が使用できないことがあります。

- 雑音が入る場合、また以下のような場所では、本装置の設置場所を移動してみてください。
  - 放送局や無線局などが近い場合。
  - 車やオートバイが近くを通る場合。
  - 高周波溶接機、高周波ミシン、電気溶接機、ワイヤカッタなどの工作機械の近くで使用する場合。

- 本装置は平らな面に置いてお使いください。落下や故障の原因となることがあります。

- 硫化水素が発生する場所（温泉地）や、塩分の多いところ（海岸）などでは、本装置の寿命が短くなることがあります。

お取り扱いについて



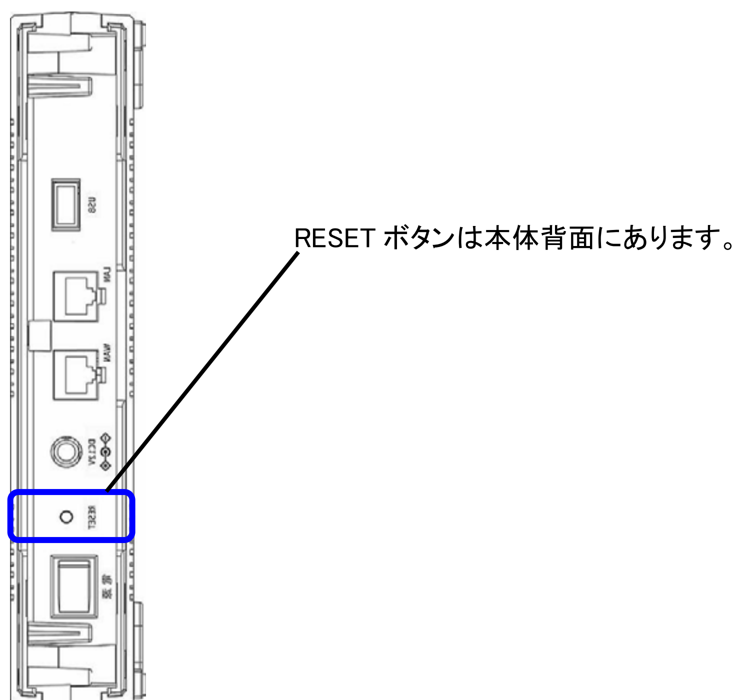
● 本装置をぬれたぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。 本装置の変色や変形の原因となることがあります。 汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。
● 停電になった場合、電話をかけたり、受けたりすることができなくなります。 停電に対しては回線終端装置(ONUやCTU)および、AI900システム全体をUPS(無停電電源装置)等につなぐなどの予防措置が必要です。 詳しくは、当社のサービス取扱所にお問合せ下さい。
● ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示のご利用に際しては、総務省の定める「発信者情報サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」を尊重してご利用願います。
● 電話機コードを必要以上に引っ張らないでください。故障の原因となることがあります。
● 本装置を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となることがあります。
● 本装置を汚れやすいところに置かないでください。故障の原因となることがあります。
● 本装置は、防水が施されていません。次のようなことを注意してください。 ・ ぬらさないでください。 ・ 浴室で使用したり、水の中に浸けたりしないでください。 ・ 水滴が付いた場合は、なるべく早く乾いた布などでふき取ってください。 ・ ぬれたまま、0℃以下になる場所に放置しないでください。

廃棄（または譲渡、返却）される場合のご注意

本装置は、お客様固有の情報を保存または保持可能な商品です。本装置内に保存、または保持された情報の流出による不測の損害などを回避するために、本装置を廃棄、譲渡、返却される際には、本装置内に保存または保持された情報を消去する必要があります。

下表にしたがって消去を行ってください。ご不明な点は当社のサービス取扱所にご相談ください。

記録内容	処置
・共有アドレス帳 ・内線電話帳 ・WAN接続設定 ・VPN設定 ・SDDNS設定 ・その他設定	RESETボタンを4秒以上長押して、本装置を初期化します。



目次

1　概要

本装置は、ASUMO が提供するネットワークシステム　AI900において、主にIP電話事業者に対する SIP ゲートウェイ、及びインターネット接続を行うブロードバンドルータ機能を有するSC（システムコントローラ）です。

★ 取扱説明書をお読みいただく上でのお願い

本書は、システムの中核となるSC（システムコントローラ）についての説明書として、システムの管理者にお読みいただくことを前提としております。

システムの管理者は、IP-PBX の機能、ネットワークに関する専門的な知識をお持ちの方であるものとし、一部の一般的な手順については、記述を省略しております。

本書をお読みいただく上で、不明な点や疑問点はご遠慮なくテクニカルサポートへお問い合わせください。

1.1　本装置の主な機能

- ひかり電話オフィスタイプを収容します
- インターネットへ接続します
- IP 電話機をつなぐだけで使用できます（かんたん設定）
- Web 上で設定ができます
- SIP サーバ機能を搭載しています
- VPN により拠点間、リモートメンテナンスの接続が可能となります
- VPN で使用する CA 証明書を作成します。
- AI-VOIP-TA を経由して MFP、アナログ電話を収容します
- MFP と連携し、MFP の状況を AI 多機能電話機に通知します
- 内部からの漏洩を防ぐファイアーウォール機能など、セキュリティ機能を搭載します
- 共有アドレス帳を搭載しています
- ログ機能により、トラブルを迅速に解決します
- 本装置の障害やエラー、警告を、メールで通知します
- AI多機能電話機、AI-VOIP-TA のファームウェア一括更新機能を搭載しています

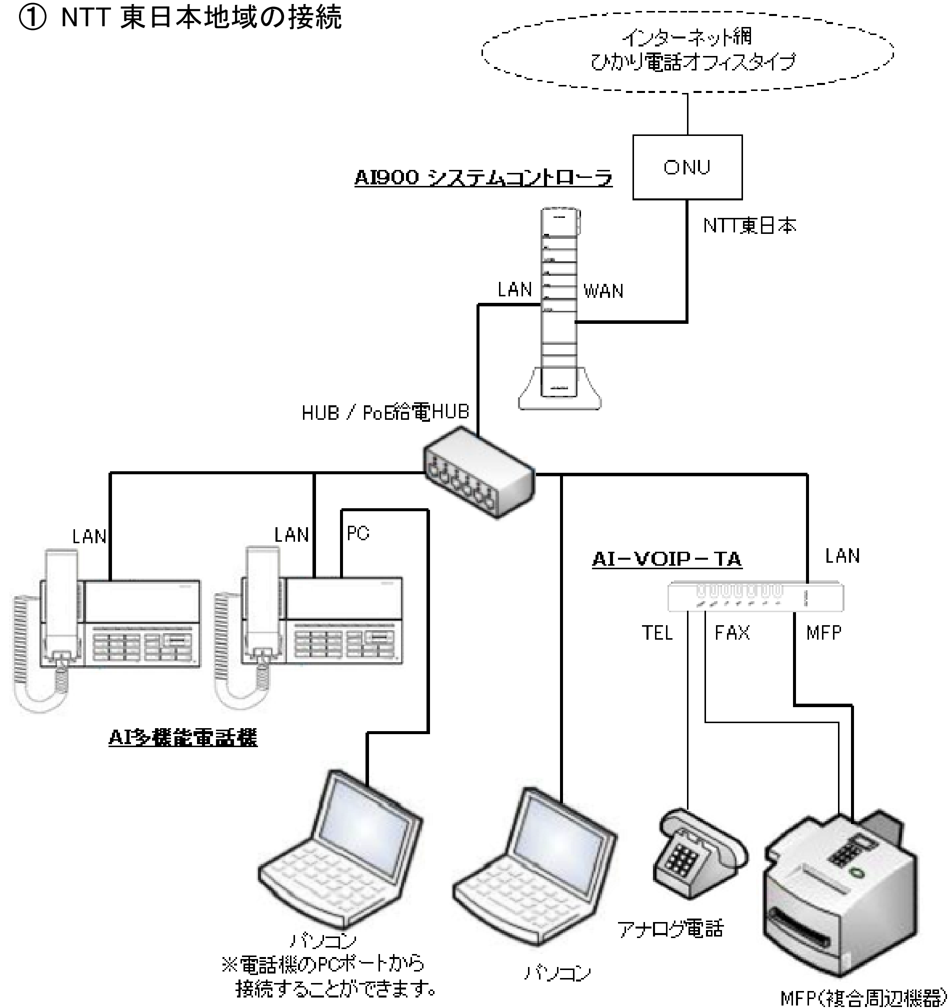
1.2　システムの機器接続可能台数

項目	容量（台数）	備考
端末	50 台	AI 多機能電話機、AI-VOIP-TA など
外線回線数	8 回線	「ひかり電話オフィスタイプ」（※）
端末管理	50 台	かんたん設定で管理可能な台数

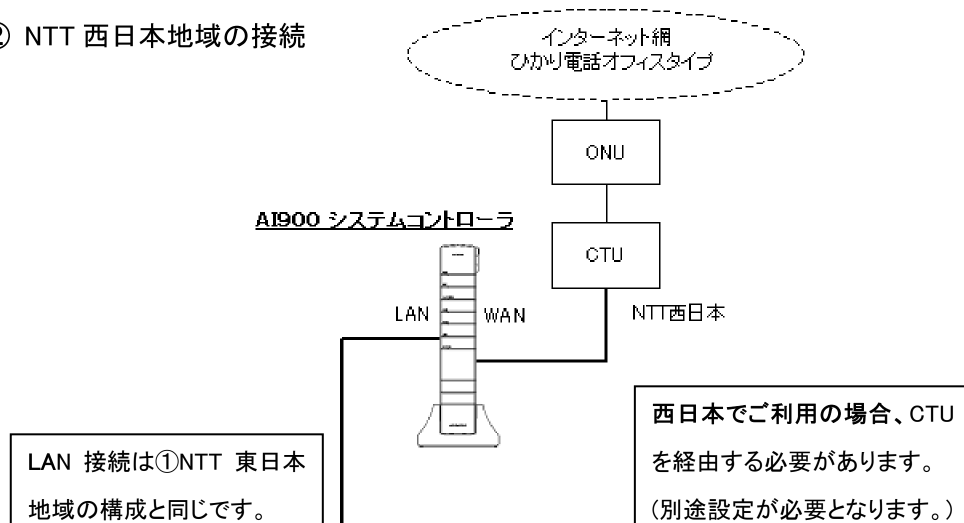
※ ひかり電話オフィスタイプは東日本電信電話株式会社および西日本電信電話株式会社の登録商標です。

2 ネットワークシステム AI900の構成

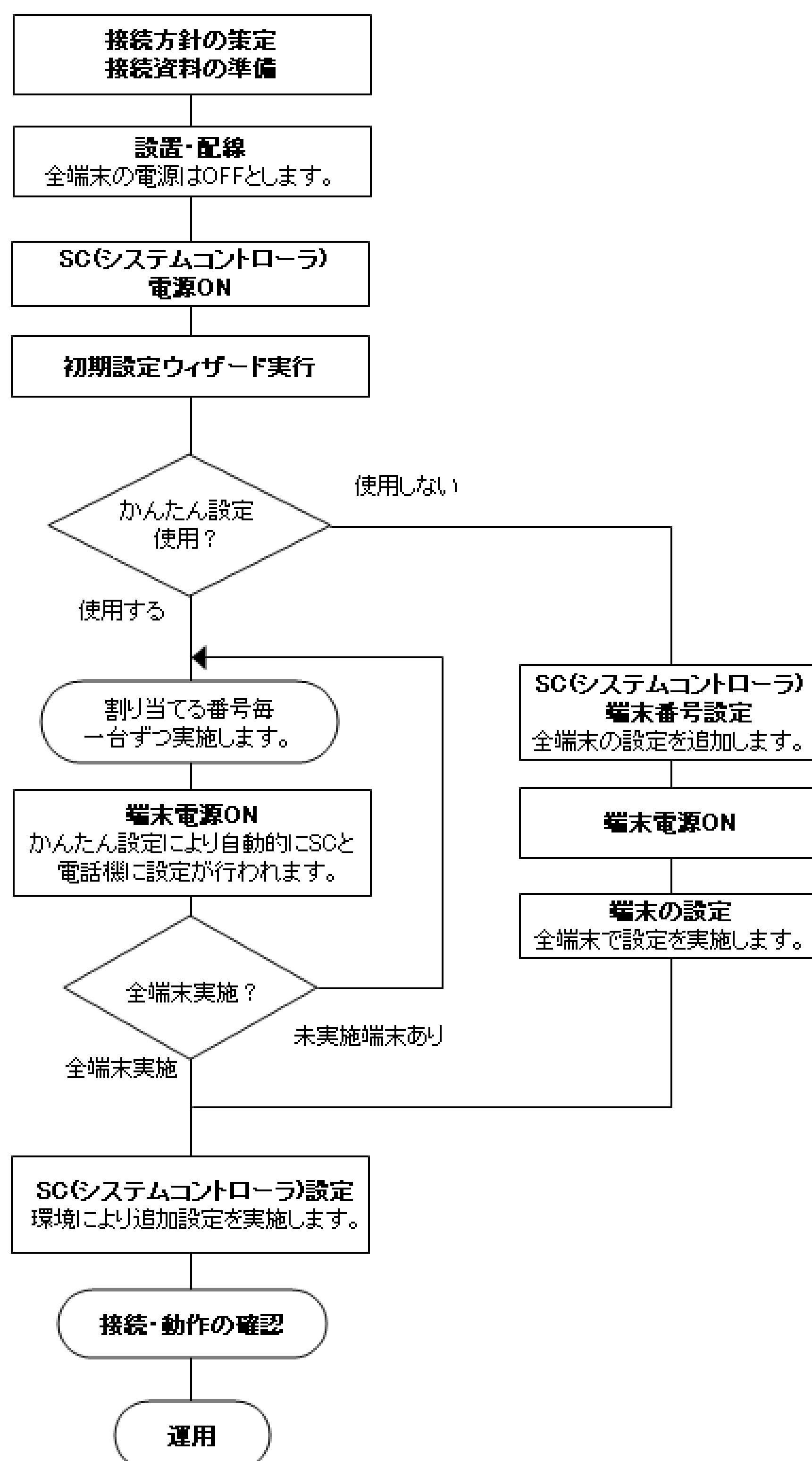
① NTT 東日本地域の接続



② NTT 西日本地域の接続



2.1 設定の流れ


接続方針の策定
接続資料の準備
設置・配線
全端末の電源はOFFとします。
SC(システムコントローラ)
電源ON
初期設定ウィザード実行
かんたん設定
使用？
使用しない
使用する
割り当てる番号毎
一台ずつ実施します。
端末電源ON
かんたん設定により自動的にSCと
電話機に設定が行われます。
全端末実施？
未実施端末あり
全端末実施
SC(システムコントローラ)
端末番号設定
全端末の設定を追加します。
端末電源ON
端末の設定
全端末で設定を実施します。
SC(システムコントローラ)設定
環境により追加設定を実施します。
接続・動作の確認
運用

3　お使いになる前に

3.1　セットの確認

● 構成品の一覧

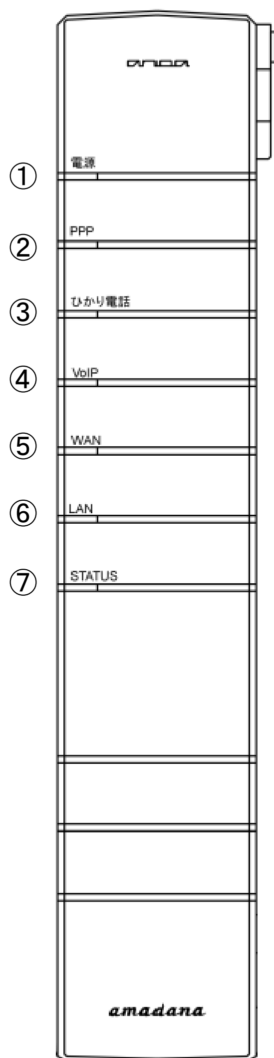
品名	数量	備考
AI900 システムコントローラ 本体	1台	
電源アダプタ	1台	
置台	1台	卓上設置の場合に使用します。
木ねじ	2本	壁に掛ける場合に使用します。
取扱説明書	1枚 （CD-ROM）	以下の取扱説明書が CD-ROM 内に入っています。 ・ クイックマニュアル ・ AI900 システムコントローラ 取扱説明書（本書） ・ AI多機能電話機 取扱説明書 ・ AI—VOIP—TA 取扱説明書
保証書	1枚	

☆ ポイント

セットに足りないものがある場合は、サービス担当にご連絡ください。

4　各部の名称

4.1　本体正面

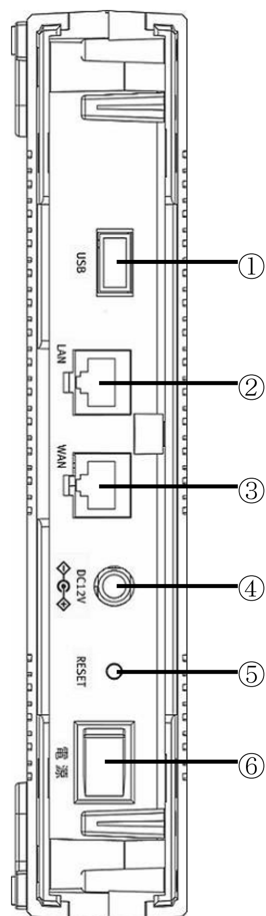


	名称	説明
①	電源	電源ランプ
②	PPP	ISP に対しての PPP 接続状態表示
③	ひかり電話	ひかり電話への状態表示
④	VoIP	ひかり電話以外の IP 電話事業者への接続状態表示
⑤	WAN	WAN ポートの状態表示
⑥	LAN	LAN ポートの状態表示
⑦	STATUS	レジスタエラーなど機能異常の状態表示

4.2　ランプ表示

名称	色	光り方	機能
電源	ー	消灯	電源 OFF
	青	点灯	電源 ON
PPP	ー	消灯	PPPoE 接続なし、切断状態
	青	点灯	PPPoE 接続完了
	青	点滅	PPPoE 接続試行中
	紫	点灯	PPPoE マルチセッション接続完了
ひかり電話	ー	消灯	ひかり電話への接続なし、切断状態
	青	点灯	ひかり電話への登録完了
	青	点滅	ひかり電話への登録試行中
VoIP	ー	消灯	ひかり電話以外の IP 電話事業者への接続なし、切断状態
	青	点灯	ひかり電話以外の IP 電話事業者への登録完了
	青	点滅	ひかり電話以外の IP 電話事業者への登録試行中
	紫	点灯	複数のひかり電話以外の IP 電話事業者への登録完了
	紫	点滅	複数のひかり電話以外の IP 電話事業者への登録試行中
WAN	ー	消灯	切断状態
	青	点灯	リンク時（1000BASE-T）
	青	点滅	通信時（1000BASE-T）
	紫	点灯	リンク時（100BASE-TX）
	紫	点滅	通信時（100BASE-TX）
	赤	点灯	リンク時（10BASE-T）
	赤	点滅	通信時（10BASE-T）
LAN	ー	消灯	切断状態
	青	点灯	リンク時（1000BASE-T）
	青	点滅	通信時（1000BASE-T）
	紫	点灯	リンク時（100BASE-TX）
	紫	点滅	通信時（100BASE-TX）
	赤	点灯	リンク時（10BASE-T）
	赤	点滅	通信時（10BASE-T）
STATUS	ー	消灯	通話不可、通話設定中
	青	点灯	通話動作可能
	青	点滅	応答可能な電話機がない
	紫	点灯	回復可能な機能異常発生
	赤	点灯	回復不能な状態異常発生
	赤	点滅	ファームアップ中

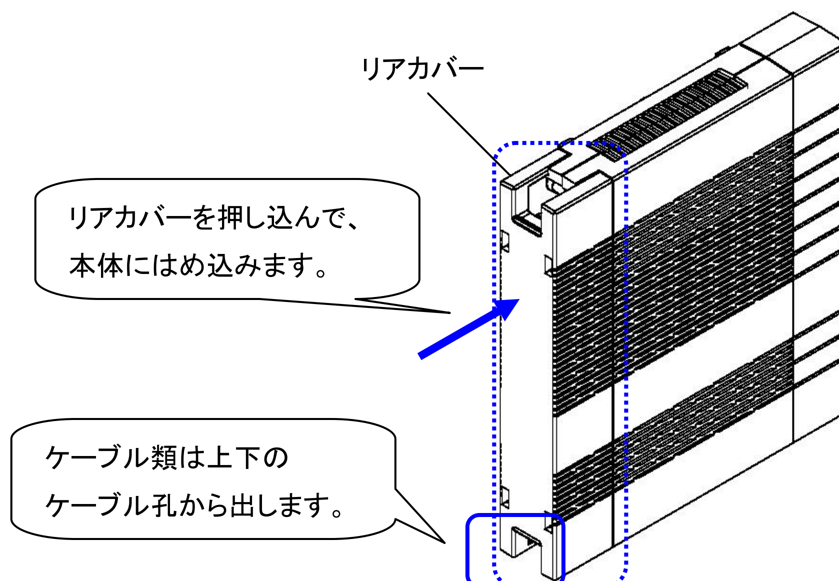
4.3 本体背面（カバー内部）



	名称	説明
①	USB	USB ホスト（A コネクタ） ※メンテナンス用の為使用できません。
②	LAN	HUB等に接続します。（RJ-45）
③	WAN	ONU などに接続します。（RJ-45）
④	DC12V	付属の電源アダプタを接続します。
⑤	RESET	1回押しで再起動します。 4秒以上長押しで設定を初期化します。
⑥	電源	電源の ON、OFF を切り替えます。

☆ ポイント

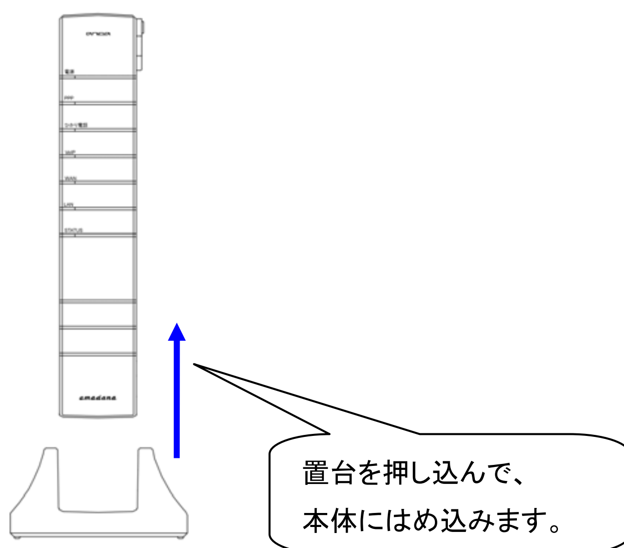
通常の運用時は、背面にリアカバーを取り付けます。



4.4　機器の設置方法

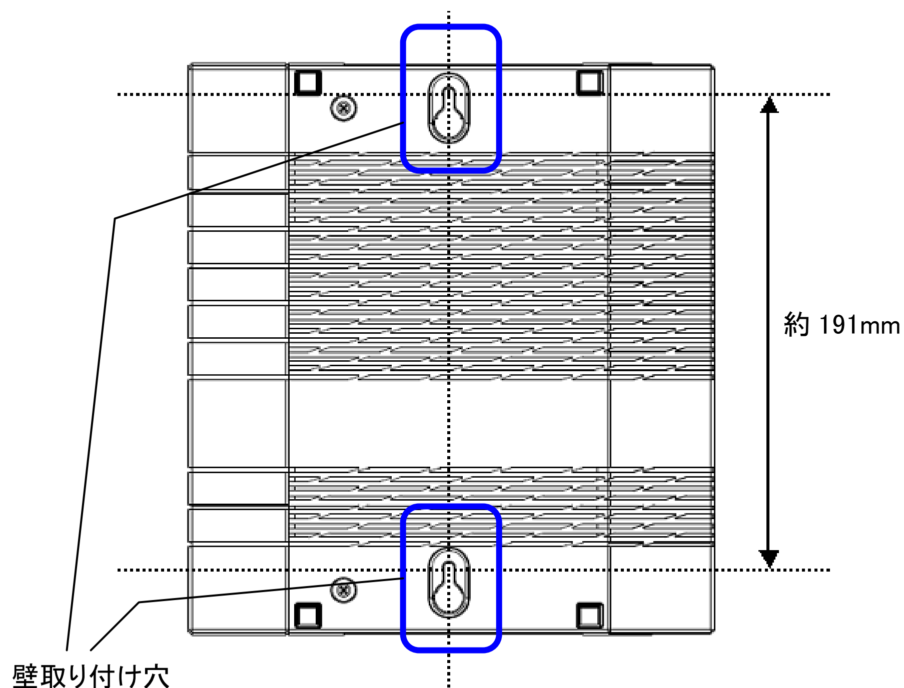
● 卓上に設置する場合

卓上に設置する場合は、本体に置台を取り付けます。



● 壁に掛けて設置する場合

壁に掛ける場合は、木ねじを壁に取り付けて側面の壁取り付け穴に差し込みます。



5　SC(システムコントローラ)の設定

SC(システムコントローラ)の設定は、LAN ポートに接続したパソコンから Web ブラウザを使用して行います。

本装置は「かんたん設定」機能により、詳細な設定作業なしにAI多機能電話機やAI-VOIP-TA を接続して使用することができます。また、ご利用環境にあわせて設定を変更してご利用いただくことも可能です。既存のシステムに本システムを組み込んで使用する場合には、ご利用環境に合わせた設定をしていただくことによりお使いいただくことができます。

5.1　SC(システムコントローラ)設定の種類

SC(システムコントローラ)への設定は、目的に応じて 4 種類あります。

<table>
<tr><th colspan="2">設定の種類</th><th>内容</th><th>備考</th></tr>
<tr><td rowspan="3">設定の編集</td><td>初期設定
(初期設定ウィザード)</td><td>ご利用に必要な項目の設定を行います。</td><td>システム導入時および初期化後初回起動時に表示します。</td></tr>
<tr><td>基本設定</td><td>よく使われる機能に絞って項目を表示します。</td><td>一部の項目は表示されません。</td></tr>
<tr><td>拡張設定</td><td>運用に影響のある設定も含め、全ての項目を表示します。</td><td>高度なネットワーク、IP 電話システムの知識が必要です。</td></tr>
<tr><td colspan="2">共有アドレス帳編集</td><td>共有アドレス帳の表示、編集を行います。</td><td>アドレス帳編集専用アカウントにて管理者以外の編集を許可できます。</td></tr>
</table>

5.2　SC(システムコントローラ)設定の準備

SC(システムコントローラ)の設定は、LAN ポートに接続したパソコンから Web ブラウザを使用して行います。

● 用意するもの

・SC(システムコントローラ)

・付属のSC(システムコントローラ)用電源アダプタ

・設定用パソコン

・LAN ケーブル

● 設定に使用するパソコンの条件

項目	条件	備考
ネットワーク	LAN(10Base-T 以上)ポートが必要です。	
OS	Microsoft Windows XP SP2 以降	
Web ブラウザ	InternetExploler6.0 以上	

5.3 SC(システムコントローラ)設定画面の表示

SC の設定を変更するには、以下の手順で Web 設定画面を表示します。

☆ ポイント

共有アドレス帳の編集方法については、「10 共有アドレス帳」を参照下さい。

1. LAN ケーブルを使用し、本装置の LAN ポートとパソコンを接続します。
2. 本装置の電源を入れます。電源アダプタを本体に接続し、電源スイッチをONにします。
   電源を入れると本装置の「電源」ランプが点灯します。本装置の起動が完了すると「STATUS」ランプが青色に点灯し、設定作業を開始できます。
3. パソコンの電源を入れます。
4. パソコンの Web ブラウザに、本装置の設定画面アドレスを入力します。
   IP アドレス及び Web 接続ポートを変更していない場合は、
   http://192.168.1.1:8080/ となります。
5. 管理者のIDとパスワード を入力します。



管理者 ID、パスワードを変更していない場合は以下の通りとなります。

ユーザー名: admin

パスワード: master

6. Web 設定画面が表示されます。

- システム導入時および初期化後初回起動時は「初期設定ウィザード」画面が表示されます。
- 「初期設定ウィザード」が終了している場合は、「基本設定」の表示となります。

★ 注意

セキュリティのため、パスワードは定期的に変更してください。パスワードを紛失した場合は、SCを初期化してお買い上げ時の設定に戻すことができますが、設定内容もすべてお買い上げ時の状態に戻ります。パスワードの管理には十分にご注意ください。

SC設定画面 トップ画面

AI900

基本設定

トップ

IP電話設定

MFP連携

システム

ログアウト

設定反映

トップ

設定モード

現在運用中のモード確認

かんたん設定モード : ON

運用モード : OneTouch

有効中のサービス一覧

共有アドレス帳 : ON

拠点間状況 : OFF

WAN接続状況

WAN接続状況 : OK

レジスト状況:外線

外線番号	登録状態	有効期限
	Register Failed	--------

レジスト状況:内線

端末番号	登録状態	有効期限
20	Registered	2009/01/08 13:52:08
21	Registered	2009/01/08 13:52:10
22	Registered	2009/01/08 13:52:18

更新

5.4 SC(システムコントローラ)設定画面の操作

基本設定及び拡張設定の画面について以下の手順で操作を行います。

☆ ポイント

・ 初期設定ウィザードの操作については、「7 初期設定ウィザード」を参照下さい。

1. ブラウザの画面左側にメニューが表示されます。メニューをクリックすると、選択したメニューの内容が画面右側に表示されます。

☆ ポイント

基本設定及び拡張設定における設定項目の詳細につきましては、それぞれ「8 基本設定」、「9 拡張設定」を参照下さい。

2. 設定画面にて設定の変更を行ったあとに、画面右側の「更新」ボタンまたは「設定」ボタンを押すと変更内容が確定します。
この時、SC(システムコントローラ)は、まだ設定変更を反映していません。設定変更を取り消す場合は、「ログアウト」ボタンを押すことにより設定変更をしないで、設定画面を終了することができます。

3. 画面左側の「設定反映」ボタンを押すと、変更した内容をSC(システムコントローラ)に反映します。

5.5　ログインユーザーの種類と権限

SC（システムコントローラ）の設定は、全ての設定操作が可能な「管理者」ユーザーのみ行うことができます。また、共有アドレス帳の編集が実施できる「アドレス帳編集許可ユーザー」を設定できます。アドレス帳編集許可ユーザーは複数のユーザーを設定できますが、管理者は1ユーザーのみ設定します。

ユーザーの種類と権限

ユーザーの種類	権限	ユーザー名、パスワードの初期値	備考
管理者	・ SC（システムコントローラ）の設定 ・ 内線電話設定 ・ 共有アドレス帳編集	ID：admin パスワード：master	1ユーザーのみ設定可能で、追加はできません。
アドレス帳編集許可ユーザー	・ 共有アドレス帳編集	ID：address パスワード：user	ユーザーの登録・編集は管理者が行います。

6 かんたん設定

かんたん設定を有効に設定すると、対応するAI多機能電話機や AI-VOIP-TA を接続した場合、オートプロビジョニング機能により通話に必要な設定が登録、設定が行われます。このためAI 多機能電話機や AI-VOIP-TA がすぐに電話機能を使用できるようになります。

なお、かんたん設定を使用したAI 多機能電話機やAI-VOIP-TA は、事務所のレイアウト変更等で内線番号を変更する場合でも、SC（システムコントローラ）の変更を行うだけでよく、AI 多機能電話機や AI-VOIP-TA の設定を変更する必要はありません。

★ 注意

AI-VOIP-TA はかんたん設定でFAXポートのみ設定されます。TELポートを使用する場合は、手動で設定する必要があります。

かんたん設定はネットワークシステム AI900対応のAI多機能電話機や AI-VOIP-TA のみ対応します。

6.1 かんたん設定を用いたシステム導入の流れ

はじめにSC（システムコントローラ）の設定を行い、その後登録する内線番号の順に AI 多機能電話機や AI-VOIP-TA を接続することで、かんたんに端末を登録することができます。

1. SC（システムコントローラ）、端末（AI 多機能電話機や AI-VOIP-TA など）を設置します。それぞれの機器は電源 OFF 状態とします。
2. SCの電源を入れます。
3. SCとパソコンを接続し、Web 設定画面を表示します。
4. 初期設定ウィザードを実行し、WAN 接続などの必要な設定を行います。このとき「かんたん設定」を有効に設定します。ウィザード終了にてSCが再起動します。
5. 必要な設定がありましたら、SC再起動後、再びWeb 設定画面を表示して設定を行います。
6. SCの動作を確認します。本体前面のランプ表示「STATUS」が青色表示となることを確認します。その他 WAN 設定などが接続状態となることを Web 設定画面で確認します。
7. 設定する内線番号の順に、端末（AI 多機能電話機や AI-VOIP-TA など）を接続し、各端末の電源を投入して下さい。かんたん設定機能により、管理情報が設定され、AI 多機能電話機や AI-VOIP-TA 等はすぐに使用可能となります。

★ 注意

内線電話番号は、最初にSCと接続した際に設定されます。内線電話番号を変更する場合は、SCの Web 設定画面にて番号を変更できます。

8. 接続したAI多機能電話機や AI-VOIP-TA の動作を確認します。内線電話などで、通話できることを確認します。
9. 内線グループ設定、コールピックアップ等の設定を行う場合は、SCの Web 設定画面を表示して設定を行います。

6.2 かんたん設定の登録内容

かんたん設定を使用する場合、以下の内容が各装置に適用されます。

6.2.1 AI多機能電話機やAI-VOIP-TAに自動的に登録される設定内容

- ネットワーク設定

  IP アドレス/サブネットマスク/デフォルトゲートウェイ/DNS サーバ/NTP サーバ
- 電話機設定

  SIP サーバアドレス/SIP サーバポート

  REGISTER サーバアドレス/REGISTER サーバポート

  SIP ドメイン名
- 内線電話番号設定

  内線電話番号/内線端末アカウント/内線端末パスワード

  ※オートプロビジョニング機能により、初回接続時にSC(システムコントローラ)、電話機に登録されます。SC上で内線電話番号を変更した場合は、電話機に通知し、自動で電話番号を変更します。
- その他設定

  ラインキー運用モード設定(レガシーモード/ワンタッチモード)

  優先モード設定(自動・内線優先・外線優先)

  共有アドレス帳/内線電話帳

  SC(システムコントローラ)上からの一括端末ファームアップデートに対応

6.2.2 SC（システムコントローラ）に自動的に登録される設定内容

オートプロビジョニング機能により、以下の項目が登録されます。

- 内線端末設定 （「IP 電話設定」メニューの「端末設定」タブ）
  - 端末番号 ※変更可能
  - 内線端末アカウント/内線端末パスワード ※変更不可
  - 電話機 IP アドレス/電話機 MAC アドレス ※変更不可
  - ☆ ポイント

    端末番号を変更したとき、端末の固有情報を使用して端末を判別し、変更を反映します。
- グループ設定(「IP 電話設定」メニューの「グループ設定」タブ、「ピックアップ設定」タブ)
  - グループ設定： ”Default”グループに登録
  - ピックアップグループ設定： “Default”グループに登録

6.2.3 適用されるSC（システムコントローラ）設定内容

かんたん設定において、SC（システムコントローラ）設定の以下の項目が端末に適用されます。

- DHCP 設定 （「LAN」メニューの「DHCP 設定」タブ）

  接続電話機に「IP 電話機割当アドレス」のアドレスが適用されます。
- SIP サーバ機能 （「IP 電話設定」メニューの「サーバ設定」タブ）
  - 運用モード/ラインキー設定
  - 優先モード
  - 内線割当開始番号

    ※内線割当番号の初期設定は20番から順に番号が登録されます。
- 時刻設定 （「システム」メニューの「時刻設定」タブ）

  SCの時刻が電話機に適用されます。
- 電話機ファームウェアアップデート （「システム」メニューの「ファーム更新」タブ）

  かんたん設定にて接続した端末の一括ファームアップデートに対応します。

7　初期設定ウィザード

システムの導入時や、設定を初期状態に戻した場合において、初期設定ウィザードが表示されます。初期設定ウィザードにて、必要な設定を登録することができます。

7.1　初期設定ウィザードの開始

1. LAN ケーブルを使用し、SC（システムコントローラ）の LAN ポートとパソコンを接続し、両者の電源を入れます。
2. パソコンの Web ブラウザに、SC（システムコントローラ）の設定画面アドレスを入力します。

   URL は http://192.168.1.1:8080/ （初期状態）となります。
3. 管理者のユーザー名、パスワードを入力します。

   ユーザー名： admin　（初期状態）

   パスワード： master　（初期状態）

3. 初期設定ウィザード画面が表示されたら[開始]ボタンを押します。

7.2　初期設定ウィザードによる設定

初期設定ウィザードを開始すると、ウィザード画面が表示されます。

画面の指示に従い、「次へ」ボタンにて次の設定項目が表示されます。（「戻る」ボタンで前の画面に戻ります。）

全ての設定項目を実施後、「設定反映」ボタンを押すと、ウィザードを終了してSC（システムコントローラ）の再起動を行います。

7.2.1　管理者パスワードの変更

項目	内容	初期値	設定内容
管理者パスワード	管理者パスワードを変更します。	ー	4～16 文字の 半角英数字入力
管理者パスワード確認	「管理者パスワード」と同じ内容を入力します。	ー	

7.2.2　キャリア選択

項目	内容	初期値	設定内容
キャリア選択	ひかり電話で使用するキャリアを選択します。	ー	・使用しない ・NTT 東日本 ・NTT 西日本

7.2.3　WAN接続方法設定

項目	内容	初期値	設定内容
WAN 接続方法 *1	WAN 接続方法を選択します。	DHCP	・PPPoE ・DHCP ・固定 IP アドレス

*1 「キャリア選択」にて「NTT 東日本」「NTT 西日本」を選択した場合は、「PPPoE」固定となり、「PPPoE」以外の選択はできません。

☆ ポイント

「PPPoE」、「固定 IP アドレス」を選択した場合は、それぞれの設定画面が表示されます。

「DHCP」を選択した場合は、「かんたん設定」画面が表示されます。

7.2.3.1 WAN接続方法(PPPoE)設定

「WAN 接続方法」にて、「PPPoE」を選択した場合に表示されます。

項目		内容	設定内容
接続先の設定		PPPoE 接続先のログイン設定を入力します。複数の PPPoE 設定を入力する場合は、初期ウィザード後に追加します。	
	接続先名称	接続先の名称を入力します。 (任意の名称入力)	全角 32 文字まで 空欄は不可
	接続先認証用 ID	接続先の ID を入力します。	半角英数字 1〜128 文字
	パスワード	接続先のパスワードを入力します。	半角英数字 1〜128 文字
IP アドレス		固定 IP アドレスを取得している場合は設定を変更する場合があります。詳しくは各プロバイダにお問い合わせ下さい。	
	IP アドレスの自動取得	固定 IP アドレスの場合は「手動設定」を選択します。	・自動取得 ・手動設定
	IP アドレス	手動設定時、IP アドレスを入力します。	
	ネットマスク	手動設定時、IP アドレスのネットマスクを入力します。	
DNS サーバアドレス		DNS サーバを手動で設定する場合は設定を変更する場合があります。詳しくは各プロバイダにお問い合わせ下さい。	
	サーバから割り当てられたアドレス	DNS サーバを手動で設定する場合は「使用しない」を選択します。	・使用する ・使用しない
	プライマリ DNS	手動設定時、プライマリ DNS サーバのアドレスを入力します。	
	セカンダリ DNS	手動設定時、セカンダリ DNS サーバのアドレスを入力します。	
認証方式		PPPoE 接続の認証方式を選択します。	・自動認識 ・PAP ・CHAP

7.2.3.2 WAN接続方法(固定IP)設定

「WAN 接続方法」にて、「固定 IP アドレス」を選択した場合に表示されます。

項目	内容	設定内容
IPアドレス	取得している固定 IP アドレスを入力します。	
サブネットマスク	IP アドレスのサブネットマスクを入力します。	
ゲートウェイアドレス	デフォルトゲートウェイの IP アドレスを入力します。	
DNS アドレス変更	DNS アドレスの変更形式を選択します。	・装置設定 ・サーバ割り当て
プライマリ DNS	プライマリ DNS サーバのアドレスを入力します。	
セカンダリ DNS	セカンダリ DNS サーバのアドレスを入力します。	

7.2.4　かんたん設定

項目	内容	初期値	設定内容
かんたん設定	かんたん設定の使用の有無を設定します。	ON	・ON ・OFF

★ 注意

かんたん設定を「OFF」に設定すると、オートプロビジョニング機能および IP 電話機への自動設定が行われません。初期設定ウィザードの設定だけではシステムが動作しませんのでご注意ください。

7.2.5　LAN設定

項目	内容	初期値	設定内容
LAN の設定方法	LAN 設定の方法を指定します。	デフォルト	・デフォルト ・カスタム

☆ ポイント

「デフォルト」に設定した場合は、以下の通りに設定されます。

IP アドレス：　192.168.1.1
サブネットマスク：　255.255.255.0
DHCP 機能：　ON
DHCP リリース範囲
　IP 電話機：　192.168.1.52 ～ 192.168.1.151
　IP 電話機配下のパソコン：　192.168.1.152 ～ 192.168.1.251
　その他の装置：　192.168.1.2 ～ 192.168.1.51

7.2.5.1 LAN接続方法設定

「LAN の設定方法」にて、「カスタム」を選択した場合に表示されます。

項目	内容	初期値	設定内容
IP アドレス *1	本装置の IP アドレス設定を入力します。	192.168.1.1	
サブネットマスク *2	LAN ネットワークのサブネットマスクを入力します。	255.255.255.0	
DHCP サービス *2	DHCP サーバ機能の使用設定を行います。	ON	・ON ・OFF

*1 「かんたん設定」が「ON」設定の場合、IP アドレスの値が「***.***.***.1」または「***.***.***.254」(***は任意のアドレス)に限定されます。

*2 「かんたん設定」が「ON」設定の場合、初期値の値に固定されます。

7.2.5.2 DHCPサーバ設定

「DHCP サービス」にて、「ON」を選択した場合に表示されます。SC(システムコントローラ)の IP アドレスを変更した場合は、ネットワークアドレスに対応した値が初期値となります。

項目	内容	初期値	設定内容
その他割当 開始アドレス	その他機器に割り振られる IP アドレス範囲を入力します。	192.168.1.2	
その他割当 終了アドレス		192.168.1.51	
IP 電話機割当 開始アドレス	IP-TEL 電話機および AI-VOIP-TA に割り振られる IP アドレス範囲を入力します。	192.168.1.52	
IP 電話機割当 終了アドレス		192.168.1.151	
IP 電話機配下 PC 割当開始アドレス	(近日対応予定)	192.168.1.152	
IP 電話機配下 PC 割当終了アドレス		192.168.1.251	

7.2.6 IP電話サーバ設定

項目	内容	初期値	設定内容
IP 電話サーバの設定方法	IP 電話サーバ設定の方法を指定します。	デフォルト	・デフォルト ・カスタム

☆ ポイント

「デフォルト」に設定した場合は、以下の通りに設定され、次の「VPN 用 CA 証明書作成」画面が表示されます。

運用モード: レガシーモード
ラインキー設定: 外線 1 番～外線 8 番に設定
優先モード: 内線入選モード
内線割当開始番号: 20

7.2.6.1 IP電話サーバ設定(カスタム設定)

「IP 電話サーバの設定方法」にて、「カスタム」を選択した場合に表示されます。

項目	内容	初期値	設定内容
運用モード *1	ラインキーの運用モードを選択します。	レガシーモード	・レガシーモード ・ワンタッチモード
ラインキー設定 1	レガシーモードにおいて対応する外線番号を選択します。 ワンタッチモードの場合無効となります。	外線 1 番	設定無し、外線 1 番～外線 32 番
ラインキー設定 2		外線 2 番	
ラインキー設定 3		外線 3 番	
ラインキー設定 4		外線 4 番	
ラインキー設定 5		外線 5 番	
ラインキー設定 6		外線 6 番	
ラインキー設定 7		外線 7 番	
ラインキー設定 8		外線 8 番	
優先モード *2	かんたん設定にて設定する優先モードを選択します。	内線優先モード	・内線優先モード ・外線優先モード ・自動識別モード
内線割当開始番号	かんたん設定にて割り当てる内線番号の開始番号を設定します。	20	

*1 運用モードはラインキーの機能を設定します。モードは以下の 2 種類があります。

レガシーモード

・ 外線番号はラインキー個々に割り当てられ、外線の着信時、対応するラインキーが点灯します。
・ 発信時、ラインキーを押すことにより、キーに割り当てられた固有の外線番号からの発信操作を行うことができます。
・ 内線は電話機単体での保留を行います。内線の保留は他の電話機に表示されず、SC（システムコントローラ）によるパーク保留は行いません。

ワンタッチモード

・ １～４のラインキーをワンタッチキーとして使用します。番号を登録しておくと、ラインキーを押すだけですぐに発信操作を行うことができます。
・ ５～８のラインキーはパーク保留キーとして使用します、外線、内線の区別なく、パーク保留、保留応答することができます。

*2 優先モードはかんたん設定にて設定する優先モードを選択します。モードは以下の 3 種類あります。

内線優先モード

・ ハンドセットを上げると「ツーツーツーツー…」と内線発信音が聞こえます。
・ 内線発信はダイヤル入力で発信できますが、外線番号は通常のダイヤルでは発信失敗となります。
・ 外線発信を行う場合は、一度[0]キーを押し、「ツーーー…」と外線発信音が聞こえる状態でダイヤル入力します。

外線優先モード

・ ハンドセットを上げると「ツーーー…」と外線発信音が聞こえます。
・ 外線発信はダイヤル入力で発信できますが、内線番号は通常のダイヤルでは発信失敗となります。
・ 内線発信を行う場合は、一度[内線]キーを押し、「ツーツーツーツー…」と内線発信音が聞こえる状態でダイヤル入力します。

自動識別モード

・ ハンドセットを上げると「ツーーー…」と発信音が聞こえます。
・ ダイヤル入力を行うと、自動的に内線／外線を識別して発信を行います。

7.2.7 VPN用CA証明書作成

VPN で使用する証明書を作成します。「次へ」ボタンを押すと証明書の作成を開始します。

★ 注意

証明書の作成には約 5 分から最大約 30 分ほどかかります。

VPN用CA証明書作成

VPNで使用するCA証明書を作成します。
作業には5分程度かかります。

戻る　次へ

VPN用CA証明書作成

CA証明書の作成中です。
作業には5分程度(最大30分)かかります。そのままお待ちください。

証明書の作成が完了後、「次へ」ボタンを押すと、「設定反映」画面が表示されます。

VPN用CA証明書作成

CA証明書が作成出来ました。

次へ

7.3　設定の反映

全ての設定項目を実施すると、「設定反映」画面が表示されます。

設定反映

ここまでの設定を保存して装置を再起動します。

戻る　設定反映

設定を有効にしてSC（システムコントローラ）に保存する場合は「設定反映」ボタンを押して下さい。初期設定ウィザードが終了し、設定を保存してSC（システムコントローラ）を再起動します。

初期設定ウィザード<終了>

初期設定ウィザードを終了し、装置を再起動しています。

約70秒お待ちください。

STATUSランプが青で点灯後、ここをクリックしてください。

STATUS ランプが青で点灯後、画面内の「ここ」をクリックするとSC（システムコントローラ）の設定画面を表示します。

8　基本設定

システム設定が終了し、実際の運用が開始したあとは、Web 設定画面の基本設定を使用することでよく使われる機能の設定や運用状況の確認を行うことができます。システムの運用に影響のある設定を表示しませんので、システム障害となる誤操作を防ぐことができます。

☆ ポイント

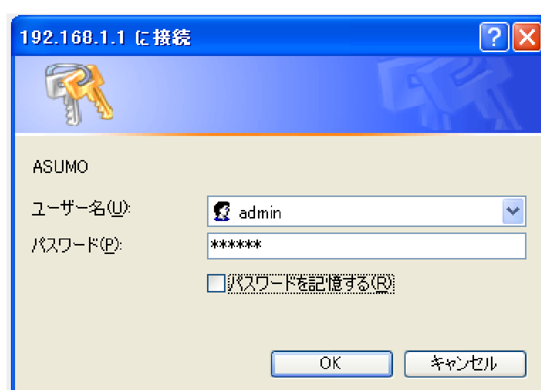
- システム導入時、または設定初期化後の初回起動時は初期設定ウィザードが表示されます。詳しくは「7 初期設定ウィザード」を参照ください。
- WAN 設定の変更やシステムの変更などを行う場合は「拡張設定」にて実施します。詳しくは「9 拡張設定」を参照ください。

★ 注意

設定を変更後、「設定反映」ボタンにて本装置の再起動や接続電話機の再起動が発生することがあります。再起動中は電話動作が実施できませんのでご注意ください。なお、時刻設定がされていない場合、本装置の起動に時間がかかる場合があります。

8.1　Web設定画面の表示

1. LAN ケーブルを使用し、本装置の LAN ポートとパソコンを接続します。
2. パソコンの Web ブラウザに、本装置の設定画面アドレスを入力します。
   IP アドレス及び Web 接続ポートを変更していない場合は、
   http://192.168.1.1:8080/　となります。
3. 管理者のIDとパスワード　を入力します。



   管理者 ID、パスワードを変更していない場合は以下の通りとなります。

   ユーザー名：　admin
   パスワード：　master

   ☆ ポイント

   初期設定ウィザードにおいて、管理者のパスワードが変更されます。

4. Web 設定画面が表示されます。表示直後は「基本設定」の表示となります。

8.2 基本設定画面の構成

Web 設定ページを表示すると、「基本設定」の表示となります。画面左側にメニューが表示され、メニューをクリックすると、その項目が画面右側に表示されます。



● **メニュー項目の一覧**

メニュー項目	内容	参照
基本設定／拡張設定	設定モードを選択します。「拡張設定」に変更すると、拡張設定メニューを表示します。	9 拡張設定
トップ	Web 設定画面表示直後はこの項目が表示されます。現在の接続状況などが確認できます。	8.3「トップ」メニュー
IP 電話設定	接続する電話機やグループの設定を行います。	8.4「IP 電話設定」メニュー
MFP 連携	複合機(MFP)との接続設定を行います。	8.5「MFP 連携」メニュー
システム	システム情報の表示やアップデートなどの操作を行います。	8.6「システム」メニュー
ログアウト	ログアウトし、Web 設定画面の操作を終了します。設定反映を実行していない項目は設定内容を破棄します。	
設定反映 *1	設定を変更・確定した後に「設定反映」ボタンを押すと、設定した内容を本装置に反映します。	

*1 変更した内容によっては、本装置の再起動、端末の再起動が発生することがあります。再起動中は電話機能が使用できませんのでご注意ください。なお、時刻設定がされていない場合、本装置の起動に時間がかかる場合があります。

8.3 「トップ」メニュー

Web 設定画面を表示した直後は、「トップ」メニューが表示されます。

「トップ」メニューでは、以下の情報が確認できます。「更新」ボタンを押すと、最新の情報に更新します。

項目名		内容	備考
設定モード			
	かんたん設定モード	かんたん設定モード使用状況を表示します。	ON/OFF
	運用モード	ラインキーのモード設定を表示します。	Legacy/OneTouch
有効中のサービス一覧			
	共有アドレス帳	共有アドレス帳使用状況を表示します。	ON/OFF
	拠点間状況	拠点間接続状況を表示します。	Server/Client/OFF
WAN 接続状況		WAN 接続の状態を表示します。	OK/NG
レジスト状況：外線		外線接続のレジスト状況を表示します。登録済みの外線電話番号を一覧で表示します。	
	外線番号	外線電話番号を表示します。	
	登録状態	外線番号のレジスト状況を表示します。	
	有効期限	レジスト時の有効期限を表示します。	
レジスト状況：内線		内線接続のレジスト状況を表示します。登録済みの内線電話番号を一覧で表示します。	
	端末番号	内線電話番号を表示します。	
	登録状態	端末のレジスト状況を表示します。	
	有効期限	レジスト時の有効期限を表示します。	
更新		表示内容を更新して再表示します。	

8.4 「IP電話設定」メニュー

「IP 電話設定」メニューでは、システムに接続する電話機や電話機グループの設定を行います。

● **IP 電話設定タブの一覧**

メニュー項目	内容	参照
サーバ設定	IP 電話サーバが提供する機能に関する設定を行います。	8.4.1「サーバ設定」タブ
端末設定	・内線端末設定の表示と編集を行います。(かんたん設定の登録端末を含みます。) ・内線端末の新規追加を行います。	8.4.2「端末設定」タブ
着信設定	外線着信における着信音鳴動端末の設定(グループ単位で設定)を行います。	8.4.3「着信設定」タブ
グループ設定	外線着信や内線グループ発信におけるグループ設定を行います。	8.4.4「グループ設定」タブ
ピックアップ設定	同一グループの設定を行います。	8.4.5「ピックアップ設定」タブ

8.4.1 「サーバ設定」タブ

サーバ設定では、IP 電話サーバが提供する機能に関する設定を行います。

項目名		内容	備考
SIP サーバ機能			
	パーク保留音	パーク保留音を 3 種類から選択します。	パーク保留音 1:「プレリュード」 パーク保留音 2:「ラ・カンパネラ」 パーク保留音 3:「カノン」
設定		変更内容を確定します。 確定後、「設定反映」ボタンにて設定が本装置に反映されます。	

8.4.2 「端末設定」タブ

端末設定では、設定された内線端末の一覧を表示します。また、内線端末の設定編集や、内線端末の新規追加を実施します。

項目名		内容	備考
端末設定		登録された内線番号の一覧が表示されます。	
	No.	内線端末の通し番号を表示します。	
	端末番号	内線番号を表示します。	
	端末環境	かんたん設定で登録された端末は「オートプロビジョニング」と表示されます。 手動で新規追加を行った場合は「カスタム」と表示されます。	
	編集	内線端末設定の編集画面を表示します。	「8.4.2.1 内線端末の新規追加および編集」を参照
	削除	選択した内線端末の設定を削除します。	「8.4.2.2 内線端末の削除」を参照
内線端末を新規追加		内線端末設定の新規追加画面を表示します。 ※追加した端末は「端末環境」で「カスタム」と表示されます。	「8.4.2.1 内線端末の新規追加および編集」を参照

8.4.2.1 内線端末の新規追加および編集

「内線端末を新規追加」のリンクを選択すると、内線端末の追加画面を表示します。また、内線端末一覧画面から「編集」ボタンを押すと、内線端末の編集画面を表示します。

項目名		内容	備考
端末設定			
	端末番号	内線電話番号を入力します。	入力必須
	端末種別 *1	接続端末の種類を表示します。	変更不可
	端末環境	かんたん設定は「オートプロビジョニング」と表示します。 手動設定は「カスタム」と表示します。	変更不可
	端末名称 *2	「内線電話帳」における名称を入力します。	入力必須
	端末名称ﾌﾘｶﾞﾅ *2	「内線電話帳」におけるフリガナを入力します。	入力必須
	内線電話帳グループ *2	「内線電話帳」におけるグループ設定を行います。	空白の場合は「グループなし」
	メールアドレス	メールアドレスを入力します。	
	アカウント *3	端末設定を適用するアカウント名を入力します。	入力必須
	パスワード *3	端末設定を適用するパスワードを入力します。	入力必須
	IP アドレス *3	端末設定を適用する装置の IP アドレスを入力します。	
	MAC アドレス *3	端末設定を適用する装置の MAC アドレスを入力します。	
	外線発信番号	外線発信時の自局電話番号を選択します。	リストから選択
発信規制		内線端末設定毎に発信制限を設定します。	
	外線発信	外線の発信全般の発信を許可します。 ※不許可の場合、他の規制も不許可になります。	不許可／許可
	市外	市外局番を使用した発信を許可します。 ※不許可の場合、国際電話、携帯・PHS、ナビダイヤルも不許可になります。	不許可／許可
	国際電話	国際電話の発信を許可します。	不許可／許可

項目名		内容	備考
	携帯・PHS	携帯電話および PHS への発信を許可します。	不許可／許可
	ナビダイヤル	ナビダイヤル発信を許可します。	不許可／許可
追加 （新規追加時に表示）		入力内容で内線端末を追加します。 確定後、「設定反映」ボタンにて本装置に反映されます。	
更新 （編集時に表示）		入力内容で内線端末の設定を変更します。 変更確定後、「設定反映」ボタンにて本装置に反映されます。	
戻る		内容を破棄し、「端末設定」画面に戻ります。	

*1　かんたん設定で登録した内線端末の編集時のみ本項目を表示します。

*2 「内線電話帳」は共有アドレス帳と同様にAI多機能電話機に表示ができます。詳しくは「10 共有アドレス帳」を参照ください。

*3　かんたん設定で登録した内線端末の編集時では変更はできません。

8.4.2.2　内線端末の削除

内線端末一覧画面から「削除」ボタンを押すと、選択した内線端末の設定が削除されます。削除後、「設定反映」ボタンにて設定が反映されます。

★ 注意

内線端末を間違って削除しないように、操作は慎重に行ってください。設定操作を行う前に「システム」メニューの「設定管理」にて、設定ファイルのダウンロードを行うことをお勧めします。詳しくは「8.6.4 「設定管理」タブ」を参照ください。

なお、間違って削除した場合、設定を反映する前であれば、「ログアウト」メニューを選択すると削除前の状態に戻ります。

☆ ポイント

かんたん設定で登録した内線端末設定を削除することもできます。削除した設定の電話機を接続した状態のまま「設定反映」を行うと、再起動時に改めてかんたん設定による内線番号の登録が行われます。

8.4.3 「着信設定」タブ

着信設定では、設定されている外線端末番号の一覧が表示されます。また、外線端末番号あてに電話着信した場合に、着信が鳴動する電話機を設定することができます。

項目名		内容	備考
着信設定		登録済みの外線端末を一覧表示します。 ※外線端末番号は初回 WAN 接続時に自動的に登録されます。	
	No.	外線端末番号の通し番号を表示します。	
	外線端末番号	外線端末の電話番号を表示します。	固定値
	グループ名	外線端末の電話番号が着信した際に着信音が鳴動する端末を選択します。 グループがリスト表示されるので、鳴動する端末をグループ単位で選択します。	グループは「グループ設定」タブにて設定を行います。 初期値:Default
設定		変更内容を確定します。 確定後、「設定反映」ボタンにて設定が本装置に反映されます。	

8.4.4 「グループ設定」タブ

グループ設定では、「着信設定」にて外線着信音を鳴動する電話機のグループを設定することができます。また、「グループ代表番号」を設定することにより、内線の発信をグループ宛に行うことができます。

項目名		内容	備考
グループリスト		登録したグループを一覧表示します。	
	No.	グループの通し番号を表示します。	
	グループ名	グループの名称を表示します。 ※「着信設定」において、選択リストにこのグループ名が表示されます。	
	グループ代表番号	設定されている場合はグループ代表番号を表示します。	※内線端末からグループ代表番号あてに発信すると、グループに登録された端末全てに内線着信が鳴動します。
	端末数	グループに登録された内線端末数を表示します。	
	編集	グループ設定の編集画面を表示します。	「8.4.4.1 グループの新規追加および編集」を参照
	削除	グループ設定を削除します。	「8.4.4.2 グループ設定の削除」を参照 “Default”グループは削除不可
グループを新規追加		グループ設定の追加画面を表示します。	「8.4.4.1 グループの新規追加および編集」を参照

☆ ポイント

かんたん設定にて登録された端末については、自動的に”Default”グループに登録されます。「端末設定」タブから「内線端末の新規追加」で設定した内線端末はグループに登録されません。

8.4.4.1 グループの新規追加および編集

「グループを新規追加」のリンクを選択すると、グループ設定の追加画面を表示します。また、グループ一覧から「編集」を選択するとグループ設定の編集画面を表示します。

項目名		内容	備考
グループ設定			
	グループ名	グループの名称を入力します。	入力必須
	グループ代表番号	グループ代表番号の設定を入力します。	
	グループ端末リスト	グループに登録する端末を選択します。 ※現在登録されている内線端末がチェックボックス形式で表示されていますので、登録する端末にチェックを入れます。	
追加 （新規追加時に表示）		入力内容でグループ設定に追加します。 追加確定後、「設定反映」ボタンにて本装置に反映されます。	
更新 （編集時に表示）		入力内容でグループ設定を更新します。 更新確定後、「設定反映」ボタンにて本装置に反映されます。	
戻る		内容を破棄し、「グループ設定」画面に戻ります。	

8.4.4.2 グループ設定の削除

グループ設定画面から「削除」ボタンを押すと、選択したグループ設定が削除されます。削除後、「設定反映」ボタンにて設定が反映されます。

★ 注意

- ”Default”グループは削除できません。
- グループ設定を間違って削除しないように、操作は慎重に行ってください。設定操作を行う前に「システム」メニューの「設定管理」にて、設定ファイルのダウンロードを行うことをお勧めします。詳しくは「8.6.4 「設定管理」タブ」を参照ください。なお、間違って削除した場合、設定を反映する前であれば、「ログアウト」メニューを選択すると削除前の状態に戻ります。

8.4.5 「ピックアップ設定」タブ

ピックアップ設定では、コールピックアップを有効にするグループを設定することができます。ピックアップグループ内の内線端末あてに電話がかかってきたとき、ハンドセットを上げて[＊]ボタンを押すと、代理で応答することができます。

なお、「グループ設定」タブにて登録したグループでもコールピックアップ操作が可能です。

項目名		内容	備考
ピックアップグループリスト		登録したピックアップグループを一覧表示します。	
	No.	ピックアップグループの通し番号を表示します。	
	グループ名	ピックアップグループの名称を表示します。	
	端末数	ピックアップグループに登録された内線端末数を表示します。	
	編集	ピックアップグループ設定の編集画面を表示	「8.4.5.1 ピックアップグループの新規追加および編集」を参照ください。
	削除	ピックアップグループ設定を削除します。	「8.4.5.2 ピックアップグループ設定の削除」を参照ください。 “Default”グループは削除できません
ピックアップグループを新規追加		ピックアップグループ設定の新規追加画面を表示	「8.4.5.1 ピックアップグループの新規追加および編集」を参照ください。

☆ ポイント

かんたん設定にて登録された端末については、自動的に”Default”グループに登録されます。「端末設定」タブから「内線端末の新規追加」で設定した内線端末はグループに登録されません。

8.4.5.1 ピックアップグループの新規追加および編集

「ピックアップグループを新規追加」のリンクを選択すると、ピックアップグループ設定の追加画面を表示します。また、ピックアップグループ一覧から「編集」を選択するとピックアップグループ設定の編集画面を表示します。

項目名		内容	備考
ピックアップグループ設定			
	グループ名	グループの名称を入力します。	入力必須
	グループ端末リスト	グループに登録する端末を選択します。 ※現在登録されている内線端末がチェックボックス形式で表示されていますので、登録する端末にチェックを入れます。	
追加 （新規追加時に表示）		入力内容でピックアップグループ設定に追加します。 追加確定後、「設定反映」ボタンにて本装置に反映されます。	
更新 （編集時に表示）		入力内容でピックアップグループ設定を更新します。 更新確定後、「設定反映」ボタンにて本装置に反映されます。	
戻る		内容を破棄し、「ピックアップグループ設定」画面に戻ります。	

8.4.5.2 ピックアップグループ設定の削除

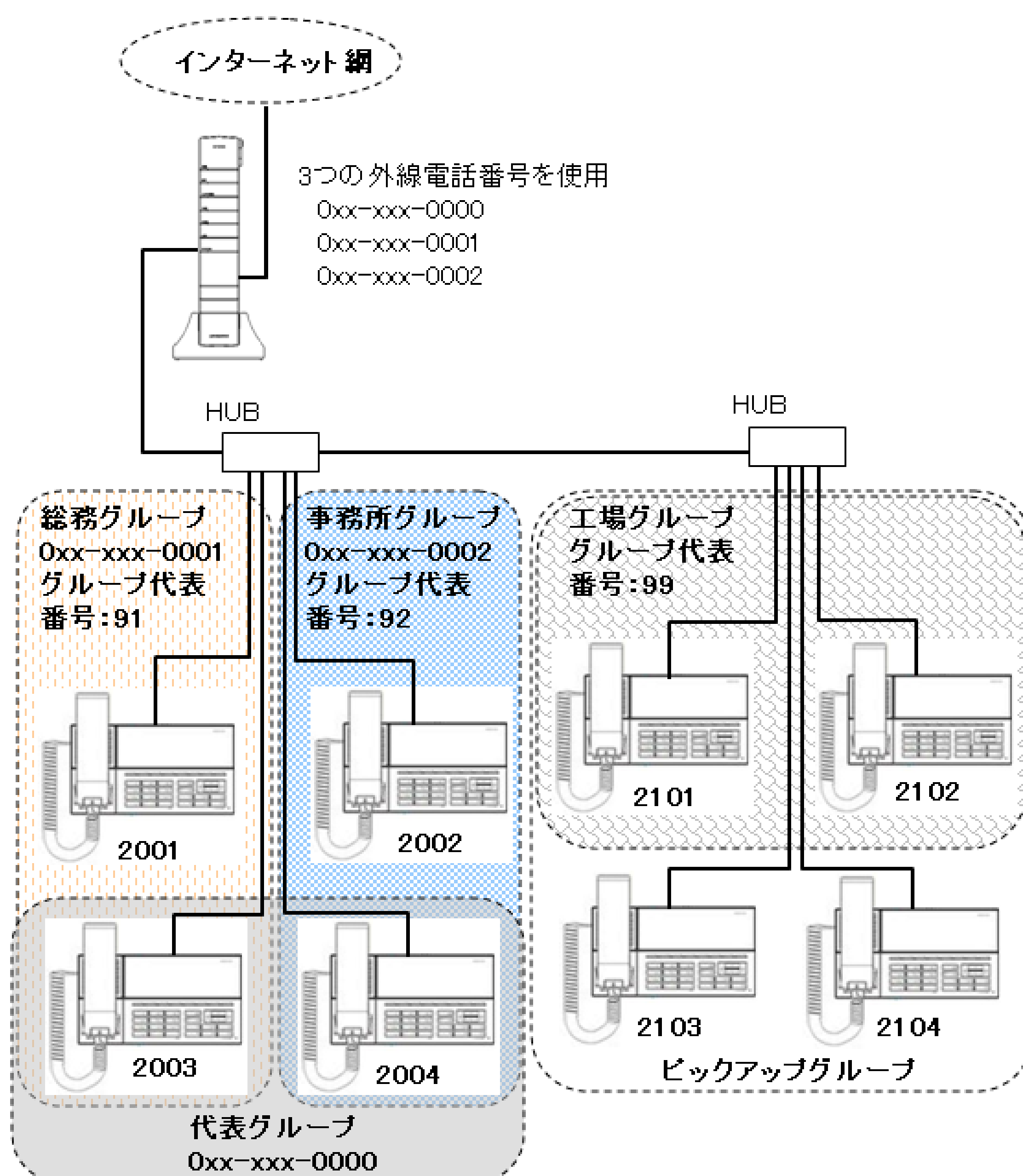
ピックアップグループ設定画面から「削除」ボタンを押すと、選択したピックアップグループ設定が削除されます。削除後、「設定反映」ボタンにて設定が反映されます。

★ 注意

- ”Default”グループは削除できません。
- グループ設定を間違って削除しないように、操作は慎重に行ってください。設定操作を行う前に「システム」メニューの「設定管理」にて、設定ファイルのダウンロードを行うことをお勧めします。詳しくは「8.6.4 「設定管理」タブ」を参照ください。なお、間違って削除した場合、設定を反映する前であれば、「ログアウト」メニューを選択すると削除前の状態に戻ります。

8.4.6 グループ設定の設定例

以下の接続図を例に、グループ設定方法と着信時の動作を記載します。



● 接続図における着信設定一覧

着信種別	着信電話番号	着信端末 *1	コールピックアップ *2
外線着信	**0xx-xxx-0000**	2003, 2004	2001, 2002
	0xx-xxx-0001	2001, 2003	2004
	0xx-xxx-0002	2002, 2004	2003
内線着信（一部）	**2001**	2001	2003
	2003	2003	2001, 2004
	2103	2103	2101, 2102, 2104
グループ宛の内線着信	**91**	2001, 2003	2004
	92	2002, 2004	2003
	99	2101, 2102	2103,2104

*1 着信音が鳴ります。ハンドセットを上げると通話ができます。

*2 着信音は鳴りませんが、ハンドセットを上げて[＊]キーを押すと通話ができます。

① SC(システムコントローラ)の設定

※ WAN 設定は接続図通りに設定されているものとします。

※ 各内線端末は、接続図通りの内線番号に設定されているものとします。

1. 「IP 電話設定」メニューの「グループ設定」タブを表示します。
2. 「グループを新規追加」のリンクを選択し、以下の通りグループを追加します。

   グループ名:　代表グループ

   グループ代表番号:　（空白）

   グループ端末リスト:　“2003”,”2004”にチェック、その他の端末はチェックなし
3. 手順2と同様に総務グループ、事務所グループ、工場グループを設定します。

   ●総務グループ

   グループ名:　総務グループ

   グループ代表番号:　91

   グループ端末リスト:　“2001”,”2003”にチェック、その他の端末はチェックなし

   ●事務所グループ

   グループ名:　事務所グループ

   グループ代表番号:　92

   グループ端末リスト:　“2002”,”2004”にチェック、その他の端末はチェックなし

   ●工場グループ

   グループ名:　工場グループ

   グループ代表番号:　99

   グループ端末リスト:　“2101”,”2102”にチェック、その他の端末はチェックなし

4．　”Default”グループの「編集」ボタンを押し、グループ端末リストから全ての端末のチェックをはずします。

5．　「IP 電話設定」メニューの「ピックアップ設定」タブを表示します。

6．　「ピックアップグループを新規追加」のリンクを選択し、以下の通りグループを追加します。

　　グループ名:　　　　　　ピックアップグループ

　　グループ端末リスト:　　“2101”,”2102”,“2103”,”2104”にチェック、他はチェックなし

7．　”Default”グループの「編集」ボタンを押し、グループ端末リストから全ての端末のチェックをはずします。

8．　「IP 電話設定」メニューの「着信設定」タブを表示します。

9．　表示されている外線電話番号について、グループ名をリストから選択し、「設定」ボタンを押します。

　　0xx-xxx-0000:　代表グループ

　　0xx-xxx-0001:　総務グループ

　　0xx-xxx-0002:　事務所グループ

１０．「設定反映」ボタンを押し、設定を SC(システムコントローラ)に反映します。

② グループ設定の確認

・「接続図における着信設定一覧」を参照し、一覧表通りの着信ができることを確認します。

8.5 「MFP連携」メニュー

MFP 連携機能は、複合機(MFP)とSC（システムコントローラ）間を SNMP プロトコルにて連携する機能です。MFP から Trap メッセージをSC（システムコントローラ）で受信した場合、対応する IP 電話機あてにメッセージを通知することができます。

「MFP 連携」メニューは、MFP 連携機能に関する通信設定を行います。

項目名		内容	備考
MFP 連携設定			
	MFP 連携	MFP 連携機能の使用を表示します。	OFF/ON
	設定	入力内容で MFP 連携機能の使用設定を変更します。 変更確定後、「設定反映」ボタンにて設定が反映されます。	
MFP 連携機器リスト			
	No.	MFP 連携機器の通し番号を表示します。	
	識別名称	MFP 連携機器の識別名称を表示します。 ※IP 電話機に送信されるメッセージの識別に使用されます。	
	IP アドレス	MFP 連携機器の IP アドレスを表示します。	
	MAC アドレス	MFP 連携機器の MAC アドレスを表示します。	
	通知台数	MFP 連携機器のメッセージを通知する IP 電話機の台数を表示します。	
	編集	MFP 連携機器の編集画面を表示します。	
	削除	MFP 連携機器設定を削除します。	
MFP 機器を新規追加		MFP 連携機器の新規追加画面を表示します。	

★ 注意

MFP 連携機能を使用するためには、別途 MFP 機器の設定が必要です。設定方法につきましては、MFP 機器の取扱説明書をご覧ください。

8.5.1 MFP連携機器の新規追加および編集

「MFP 機器を新規追加」のリンクを選択すると、MFP 連携機器設定の追加画面を表示します。また、MFP 連携機器一覧から「編集」を選択すると MFP 連携機器設定の編集画面を表示します。

項目名		内容	備考
MFP 連携			
	識別名称	MFP 連携機器の識別名称を入力します。 ※IP 電話機に送信されるメッセージの識別に使用されます。	入力必須
	IP アドレス	MFP 連携機器の IP アドレスを入力します。	入力必須
	MAC アドレス	MFP 連携機器の MAC アドレスを入力します。	入力必須
	通知イベント	通知イベントを選択します。 ※MFP にてチェックを入れた内容のイベントが発生した際に、IP 電話機へ通知を行います。 用紙切れ発生/用紙切れ解除/トナー残量少発生/ トナー残量少解除/トナー切れ発生/トナー切れ解除 紙づまり発生/紙づまり解除/FAX 受信正常終了	
	通知端末	メッセージを送信する端末を選択します。 ※現在登録されている内線端末がチェックボックス形式で表示されていますので、登録する端末にチェックを入れます。	
追加 (新規追加時に表示)		入力内容で MFP 連携機器設定を追加します。 追加確定後、「設定反映」ボタンにて本装置に反映されます。	
更新 (編集時に表示)		入力内容で MFP 連携機器設定を更新します。 更新確定後、「設定反映」ボタンにて本装置に反映されます。	
戻る		内容を破棄し、「MFP 連携」画面に戻ります。	

8.5.2　MFP連携機器の削除

「MFP 連携」画面から「削除」ボタンを押すと、選択した MFP 連携機器設定が削除されます。削除後、「設定反映」ボタンにて設定が反映されます。

★ 注意

設定を間違って削除しないように、操作は慎重に行ってください。設定操作を行う前に「システム」メニューの「設定管理」にて、設定ファイルのダウンロードを行うことをお勧めします。詳しくは「8.6.4 「設定管理」タブ」を参照ください。

なお、間違って削除した場合、設定を反映する前であれば、「ログアウト」メニューを選択すると削除前の状態に戻ります。

8.6 「システム」メニュー

「システム」メニューでは、システム情報の表示やアップデートなどの操作を行います。

● システムタブの一覧

メニュー項目	内容	参照
システム情報	システムのハードウェア情報およびWAN 接続の接続状況を表示します。	8.6.1「システム情報」タブ
時刻設定	システム未使用時刻の設定を行います。	8.6.2「時刻設定」タブ
共有アドレス帳	共有アドレス帳機能の設定および編集機能の設定を行います。	8.6.3「共有アドレス帳」タブ
設定管理	設定情報のバックアップおよびリストアを行います。	8.6.4「設定管理」タブ
再起動	本装置の再起動を行います。	8.6.5「再起動」タブ
ファーム更新	本装置のファームウェアアップデートおよびかんたん設定接続端末のファームウェアアップデートを行います。	8.6.6「ファーム更新」タブ
ログ	各種ログの表示とログファイルの取得を行います。	8.6.7「ログ」タブ

8.6.1 「システム情報」タブ

システム情報では、システムのハードウェア情報および WAN 接続の接続状況を表示します。

項目名		内容	備考
システム情報			
	Software Version	本装置のファームウェアバージョンを表示します。	
	WAN MAC	WAN ポート側の MAC アドレスを表示します。	
	LAN MAC	LAN ポート側の MAC アドレスを表示します。	
	Running Time	電源 ON 時点からの稼動時間を表示します。	
PPPoE 接続状況		PPPoE 接続設定(No.1～No.4)における接続状況を表示します。	
	No.	PPPoE 接続設定の通し番号を表示します。	
	接続先名称	PPPoE 接続設定の名称を表示します。	
	接続状態	PPPoE 接続の状態を表示します。	
	WAN 側 IP アドレス	PPPoE 接続時の WAN 側 IP アドレスを表示します。	
	接続先 IP アドレス	PPPoE 接続時のゲートウェイアドレスを表示します。	
	プライマリ DNS	PPPoE 接続時の DNS サーバアドレス(プライマリ)を表示します。	
	セカンダリ DNS	PPPoE 接続時の DNS サーバアドレス(セカンダリ)を表示します。	
VPN 接続状況		VPN 接続状況を表示します。	
	接続状態	VPN 設定の接続状態を表示します。	
	VPN 接続 IP アドレス	VPN 接続時の WAN 側 IP アドレスを表示します。	
	VPN 接続ネットマスク	VPN 接続時の WAN 側サブネットマスクを表示します。	
SDDNS 登録状況		SDDNS 登録状況を表示します。	
	登録状態	SDDNS との登録状態を表示します。	
	登録名	SDDNS にて登録した名称を表示します。	
更新		表示内容を更新して再表示します。	

8.6.2 「時刻設定」タブ

「システム未使用時刻」においてシステムが重要な通信を行っていない時刻を設定し、自動ファームアップの時刻や DHCP の再リース時間の設定に使用します。

項目名		内容	備考
システム未使用時刻設定			
	システム未使用時刻	システムで使用していない時刻を設定します。	00 時 00 分～23 時 59 分
設定		変更内容を確定します。 確定後、「設定反映」ボタンにて主装置に反映されます。	

8.6.3 「共有アドレス帳」タブ

共有アドレス帳では、共有アドレス帳と内線電話帳の使用設定および共有アドレス帳編集機能の設定を行います。

項目名		内容	備考
共有アドレス帳設定			
	共有アドレス帳設定	共有アドレス帳と内線電話帳の使用設定を行います。 ※OFF に設定すると、共有アドレス帳と内線電話帳が表示されなくなり、共有アドレス帳の追加や編集もできなくなります。	OFF/ON
	共有アドレス帳ポート	共有アドレス帳と内線電話帳の接続ポートを入力します。 ※初期値から変更すると、AI多機能電話機に共有アドレス帳と内線電話帳が表示されなくなります。	初期値:389
	共有アドレス帳 Web ポート	共有アドレス帳の編集 Web ページのポートを入力します。	初期値:80
共有アドレス帳管理			
	共有アドレス帳のダウンロード	共有アドレス帳をファイルに保存します。	
	共有アドレス帳のアップロード	アドレス帳ファイルを読み込み、共有アドレス帳に反映します。反映後、本装置の再起動を行なってください。	
共有アドレス帳編集許可ユーザリスト			
	No.	編集許可ユーザの通し番号を表示します。	
	ID	編集許可ユーザのログイン ID を表示します。	
	編集	編集許可ユーザの編集画面を表示します。	
	削除	編集許可ユーザの削除します。	
電話帳編集許可ユーザを新規追加		編集許可ユーザの追加画面を表示します。	

8.6.3.1 電話帳編集許可ユーザの新規追加および編集

「電話帳編集許可ユーザを新規追加」のリンクを選択すると、編集許可ユーザの追加画面を表示します。また、編集許可ユーザ一覧から「編集」を選択すると編集許可ユーザの編集画面を表示します。

項目名		内容	備考
共有アドレス帳編集許可ユーザ追加			
	ID	編集許可ユーザのログイン ID を入力します。	4～16 文字
	パスワード	編集許可ユーザのパスワードを入力します。	4～16 文字
	パスワード(確認)	編集許可ユーザのパスワードを入力します。	確認用再入力
追加 (新規追加時に表示)		入力内容で編集許可ユーザに追加します。 追加確定後、「設定反映」ボタンにて本装置に反映されます。	
更新 （編集時に表示）		入力内容で編集許可ユーザを更新します。 更新確定後、「設定反映」ボタンにて本装置に反映されます。	
戻る		内容を破棄し、「共有アドレス帳」画面に戻ります。	

8.6.3.2 電話帳編集許可ユーザの削除

電話帳編集許可ユーザ一覧から「削除」ボタンを押すと、選択した編集許可ユーザが削除されます。削除後、「設定反映」ボタンにて設定が反映されます。

★ 注意

ユーザ設定を間違って削除しないように、操作は慎重に行ってください。設定操作を行う前に「システム」メニューの「設定管理」にて、設定ファイルのダウンロードを行うことをお勧めします。詳しくは「8.6.4 「設定管理」タブ」を参照ください。

なお、間違って削除した場合、設定を反映する前であれば、「ログアウト」メニューを選択すると削除前の状態に戻ります。

8.6.4 「設定管理」タブ

設定管理では、設定ファイルのダウンロードおよびアップロードを実施できます。

項目名		内容
設定管理		
	設定ファイルのダウンロード	「ダウンロード」ボタンを押すと、本装置の設定をファイルに保存します。
	設定ファイルのアップロード *1	設定ファイルの設定を本装置に反映します。 ※「参照」ボタンにて保存していた設定ファイルを選択後、「アップロード」を押すと、ファイルの設定内容が本装置に設定されます。 アップロード完了後、「設定反映」ボタンにて設定が反映されます。

*1 設定ファイルのアップロードを行うと、これまでの設定内容が破棄され、設定ファイルの内容に変更されます。間違った内容をアップロードしないように、操作は慎重に行ってください。
なお、間違って実行した場合、設定を反映する前であれば、「ログアウト」メニューを選択するとアップロード前の状態に戻ります。

☆ ポイント

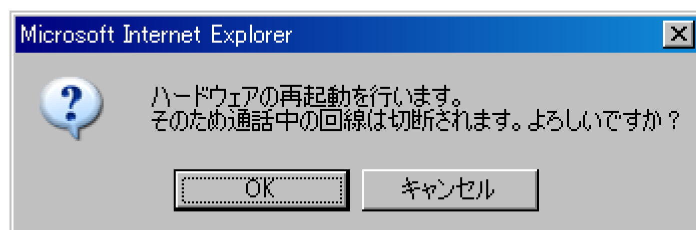
設定ファイルは設定画面上の設定項目を全て保存します。ただし、外線番号についてはアップロード後改めて登録が行われますので、以下の項目に表示される外線電話番号が変更となる場合があります。

- 内線端末の編集における「外線発信番号」
  （「IP 電話設定」メニュー「端末設定」タブ）
- 着信設定における「外線端末番号」
  （「IP 電話設定」メニュー「着信設定」タブ）

8.6.5　「再起動」タブ

再起動では、本装置の再起動が実施できます。

「再起動」ボタンを押すと、以下の確認メッセージが表示されます。「OK」ボタンを押すと本装置が再起動します。



★ 注意

- 再起動中は電話機能が使用できませんのでご注意ください。
- 再起動を行うと、かんたん設定で接続したAI多機能電話機及び AI-VOIP-TA も同時に再起動します。
- 時刻設定がされていない場合、本装置の起動に時間がかかる場合があります。

8.6.6　「ファーム更新」タブ

ファーム更新では、本装置のファームウェア更新およびAI多機能電話機、AI-VOIP-TAのファームウェア更新を実施できます。

項目名		内容
ファームウェアアップデート		
	ファームウェアアップデート	SC（システムコントローラ）のファームウェアを更新します。「参照」ボタンにてファームウェアのファイルを選択後「アップデート」ボタンを押すと、アップデートを開始します。
電話機ファームウェアアップデート		AI 多機能電話機、AI-VOIP-TA のファームウェアを更新します。
	電話機の一括アップデート	AI 多機能電話機、AI-VOIP-TA のアップデートを開始します。「アップデート」ボタンを押すと、本装置に準備したファームウェアを AI 多機能電話機、AI-VOIP-TA に書き込みを行います。
	IP 電話機のファームバージョン	本装置に準備された AI 多機能電話機のファームバージョンを表示します。

項目名		内容
	IP 電話機のファームウェア	AI 多機能電話機のファームウェアを本装置に準備します。「参照」ボタンにてファームウェアのファイルを選択後「アップロード」を押すと、アップロードを行ないます。
	VoIP-TA のファームバージョン	本装置に準備された AI-VOIP-TA のファームウェアバージョンを表示します。
	VoIP-TA のファームウェア	AI-VOIP-TA のファームウェアを本装置に準備します。「参照」ボタンにてファームウェアのファイルを選択後「アップロード」を押すと、アップロードを行ないます。

8.6.6.1　本装置のファームウェア更新方法

本装置のファームウェアについて、以下の手順にて更新を行います。

※ ファームウェアを予めパソコンに保存している状態とします。

1. 「システム」メニューの「ファーム更新」タブを表示します。
2. 「ファームウェアアップデート」の「参照」ボタンを押し、パソコンに保存していたファームウェアを選択します。
3. 「アップデート」ボタンを押します。以下の確認メッセージにて「OK」を押すとアップデートが開始されます。



★ 注意

ファームウェアのアップデート中は LAN 接続、WAN 接続が切断されます。アップデート中は通話動作が出来ませんのでご注意ください。

8.6.6.2　AI多機能電話機およびAI-VOIP-TAの一括アップデート方法

かんたん設定で接続したAI多機能電話機および AI-VOIP-TA について、本装置から一括でファームウェアのアップデートを行うことができます。

※ AI多機能電話機および AI-VOIP-TA のファームウェアを予めパソコンに保存している状態とします。

1. 「システム」メニューの「ファーム更新」タブを表示します。
2. 「IP 電話機のファームウェア」の「参照」ボタンを押し、パソコンに保存していたAI多機能電話機のファームウェアを選択します。
3. 「IP 電話機のファームウェア」の「アップロード」ボタンを押します。アップロードに成功すると、「IP 電話機のファームバージョン」にファームウェアのバージョンが表示されます。
4. 「VoIP-TA のファームウェア」の「参照」ボタンを押し、パソコンに保存していたAI-VOIP-TA のファームウェアを選択します。
5. 「VoIP-TA のファームウェア」の「アップロード」ボタンを押します。アップロードに成功すると、「VoIP-TA のファームバージョン」にファームウェアのバージョンが表示されます。
6. 「電話機の一括アップデート」の「アップデート」ボタンを押します。以下の確認メッセージにて「OK」を押すとアップデートが開始されます。



★ 注意

ファームウェアのアップデート中は LAN 接続、WAN 接続が切断されます。アップデート中は通話動作が出来ませんのでご注意ください。

8.6.7 「ログ」タブ

ログでは、各種ログの表示とログファイルのファイル保存を実施します。

項目名		内容	備考
ログ管理			
	ログ選択	表示やダウンロードを行うログの種類を表示します。 ・ ネットワーク障害ログ ・ 外線通話ログ ・ レジスト状況ログ ・ 証明書期限切れ警告ログ ・ アタック検知ログ	
	ダウンロード	現在選択されているログをテキスト形式で保存します。	
	(ログ表示スペース)	現在選択されているログを表示します。	
	更新	現在選択されているログを最新の状態に更新し、ログ表示スペースに表示します。	

9 拡張設定

初期設定ウィザード実行後、更に詳細な設定が必要な場合や、システム全体の機能変更を行う場合は、Web 設定画面の拡張設定を使用します。

☆ ポイント

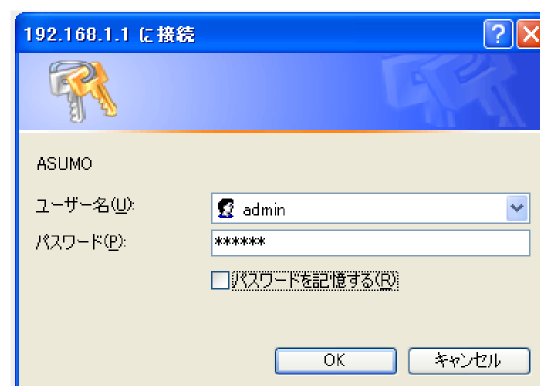
システム導入時、または設定初期化後の初回起動時は初期設定ウィザードが表示されます。詳しくは「7 初期設定ウィザード」を参照ください。

★ 注意

- 「拡張設定」の項目には、十分なネットワークの知識を必要とするものがあります。設定を誤ると、セキュリティやシステムの機能に影響を及ぼすことがありますのでご注意ください。ご利用いただく上でお困りの問題がある場合は、ご遠慮なく、テクニカルサポートまでご連絡ください。
- 設定を変更後、「設定反映」ボタンにて本装置の再起動や接続電話機の再起動が発生することがあります。再起動中は電話動作が実施できませんのでご注意ください。なお、時刻設定がされていない場合、本装置の起動に時間がかかる場合があります。

9.1 Web設定画面の表示

1. LAN ケーブルを使用し、本装置の LAN ポートとパソコンを接続します。
2. パソコンの Web ブラウザに、本装置の設定画面アドレスを入力します。
   IP アドレス及び Web 接続ポートを変更していない場合は、
   http://192.168.1.1:8080/ となります。
3. 管理者のIDとパスワード を入力します。



管理者 ID、パスワードを変更していない場合は以下の通りとなります。

ユーザー名: admin
パスワード: master

☆ ポイント

初期設定ウィザードにおいて、管理者のパスワードが変更されます。

4. Web 設定画面が表示されます。表示直後は「基本設定」の表示となります。
5. 画面左側メニューの「基本設定」を「拡張設定」に変更します。

9.2 拡張画面の構成

ブラウザの画面左側にメニューが表示され、メニューをクリックすると、その項目が画面右側に表示されます。



● メニュー項目の一覧

メニュー項目	内容	参照
基本設定／ 拡張設定	設定モードを選択します。「基本設定」に変更すると、基本設定メニューを表示します。	8 基本設定
トップ	現在の接続状況などが確認できます。	9.3「トップ」メニュー
WAN *1	WAN 側のネットワーク設定を行います。	9.4「WAN」メニュー
LAN *1	LAN 側のネットワーク設定を行います。	9.5「LAN」メニュー
ルータ *1	ルータ機能に関する設定を行います。	9.6「ルータ」メニュー
VPN 設定 *1	VPN 接続の設定を行います。	9.7「VPN 設定」メニュー
装置連携設定 *1	複数ＳＣ（システムコントローラ）における装置連携機能設定を行います。	9.8「装置連携設定」メニュー
IP 電話設定	接続する電話機やグループの設定を行います。	9.9「IP 電話設定」メニュー
MFP 連携	複合機(MFP)との接続設定を行います。	9.10「MFP 連携」メニュー
システム	システム情報の表示やアップデートなどの操作を行います。	9.11「システム」メニュー
ログアウト	ログアウトし、Web 設定画面の操作を終了します。設定反映を実行していない項目は、設定内容を破棄します。	
設定反映 *2	設定を変更・確定した後に「設定反映」ボタンを押すと、設定した内容を本装置に反映します。	

*1 「基本設定」では表示されない項目です。

*2 変更した内容によっては、本装置の再起動、端末の再起動が発生することがあります。再起動中は電話機能が使用できませんのでご注意ください。なお、時刻設定がされていない場合、本装置の起動に時間がかかる場合があります。

9.3 「トップ」メニュー

「トップ」メニューでは、以下の接続状況が確認できます。「更新」ボタンを押すと、最新の情報に更新します。

項目名		内容	備考
設定モード			
	かんたん設定モード	かんたん設定モード使用状況を表示します。	ON/OFF
	運用モード	ラインキーのモード設定を表示します。	Legacy/OneTouch
有効中のサービス一覧			
	共有アドレス帳	共有アドレス帳使用状況を表示します。	ON/OFF
	拠点間状況	拠点間接続状況を表示します。	Server/Client/OFF
WAN 接続状況		WAN 接続の状態を表示します。	OK/NG
レジスト状況：外線		外線接続のレジスト状況を表示します。 登録済みの外線電話番号を一覧で表示します。	
	外線番号	外線電話番号を表示します。	
	登録状態	外線番号のレジスト状況を表示します。	
	有効期限	レジスト時の有効期限を表示します。	
レジスト状況：内線		内線接続のレジスト状況を表示します。 登録済みの内線電話番号を一覧で表示します。	
	端末番号	内線電話番号を表示します。	
	登録状態	端末のレジスト状況を表示します。	
	有効期限	レジスト時の有効期限を表示します。	
更新		表示内容を更新して再表示します。	

9.4 「WAN」メニュー

「WAN」メニューでは、WAN 側のネットワーク設定を実施します。WAN 側の接続方法はPPPoE 接続、DHCP 接続、固定 IP アドレス接続の3種類あります。なお、ひかり電話を使用する場合は PPPoE 接続に設定します。

● 「WAN」メニューのタブ一覧

タブ項目	内容	参照
WAN 設定	WAN 側ネットワークの接続方法を選択します。	9.4.1 「WAN 設定」タブ
PPPoE 設定	PPPoE 接続における設定します。	9.4.2 「PPPoE 設定」タブ
固定 IP 設定	固定 IP 接続における設定します。	9.4.3 「固定 IP 設定」タブ

9.4.1 「WAN設定」タブ

WAN 設定では、ひかり電話設定および WAN 接続設定を実施します。

項目名		内容	備考
WAN 接続方法設定			
	キャリア選択	ひかり電話のキャリアを選択します。 ※ ひかり電話を使用する地域を選択します。ひかり電話以外の IP 電話事業者への接続を行う場合は、「使用しない」を選択します。	・使用しない ・NTT 東日本 ・NTT 西日本
	WAN 接続方法	WAN 接続方法を選択します。 ※ キャリア選択で「NTT 東日本」「NTT 西日本」を選択した場合は、「PPPoE」に設定します。	・PPPoE ・DHCP ・固定 IP アドレス
設定		変更内容を確定します。 確定後、「設定反映」ボタンにて設定が本装置に反映されます。	

9.4.2 「PPPoE設定」タブ

PPPoE 設定では、設定した PPPoE 接続設定の一覧が表示されます。WAN 接続方法を「PPPoE」に設定すると、編集および設定が可能となります。

ON に設定された PPPoE 接続で WAN 接続が行われます。

項目名		内容	備考
PPPoE 接続設定			
	No.	PPPoE 接続設定の通し番号を表示します。	
	接続先名称	PPPoE 接続設定の名称を表示します。	
	ON/OFF	PPPoE 接続設定の使用設定を表示します。 「ON」に設定すると、設定内容で PPPoE 接続を行います。	ON/OFF
	編集	PPPoE 接続設定の編集画面を表示します。	「9.4.2.1 PPPoE 接続設定の新規追加および編集」を参照
	削除	PPPoE 接続設定を削除します。	「9.4.2.2 PPPoE 接続設定の削除」を参照
	接続先を新規追加	PPPoE 接続設定の新規追加画面を表示します。 ※最大5個の設定が可能であり、5個設定すると本項目は非表示となります。	「9.4.2.1 PPPoE 接続設定の新規追加および編集」を参照
設定		変更内容を確定します。 確定後、「設定反映」ボタンにて設定が本装置に反映されます。	

9.4.2.1 PPPoE接続設定の新規追加および編集

「接続先を新規追加」のリンクを選択すると、PPPoE 接続設定の追加画面を表示します。また、PPPoE 接続設定の一覧から「編集」ボタンを押すと、PPPoE 接続設定の編集画面を表示します。

項目名		内容	備考
接続先の設定			
	接続先名称	接続先の名称(任意の名称入力)を入力します。	入力必須
	接続先認証用 ID	接続先のログイン ID を入力します。	入力必須
	パスワード	接続先のパスワードを入力します。	入力必須
IP アドレス		固定 IP アドレスを取得している場合は設定を変更する場合があります。詳しくは各プロバイダにお問い合わせ下さい。	
	IP アドレスの自動取得	IP アドレスの取得方法を選択します。 ※固定 IP アドレスを取得している場合は「手動設定」を選択します。	・自動取得 ・手動設定
	IP アドレス	WAN 側の IP アドレスを表示します。 ※手動設定時は IP アドレスを入力します。	
	ネットマスク	WAN 側のサブネットマスクを表示します。 ※手動設定時は、サブネットマスクを入力します。	
DNS サーバアドレス		DNS サーバを手動で設定する場合は設定を変更する場合があります。詳しくは各プロバイダにお問い合わせ下さい。	
	サーバから割り当てられたアドレス	DNS サーバのアドレス取得方法を選択します。 ※手動で設定する場合は「使用しない」を選択します。	・使用する ・使用しない
	プライマリ DNS	DNS サーバのアドレスを表示します。 ※手動設定時は、プライマリ DNS サーバのアドレスを入力します。	
	セカンダリ DNS	DNS サーバのアドレスを表示します。 ※手動設定時は、セカンダリ DNS サーバのアドレスを入力します。	

項目名		内容	備考
認証方式		PPPoE 接続時における認証形式を選択します。 ・自動認識（PAP と CHAP を自動的に切り替える） ・PAP （認証時の暗号化なし） ・CHAP （認証時の暗号化あり）	
PPP キープアライブ		PPP キープアライブ機能の設定を行います。 ※有効の場合、本装置から PPPoE 接続先へ一定間隔で LCP ECHO Request を送信し、応答がない場合は切断処理を行います。	
	PPP キープアライブ	PPP キープアライブの使用設定を行います。	使用しない／使用する
	LCP ECHO 送信間隔	LCP ECHO を送信する間隔を入力します。	
	LCP ECHO リトライ送信間隔	LCP ECHO のリトライ間隔を入力します。 ※LCP ECHO Request の応答がない場合に再送する間隔を設定します。	
	LCP ECHO リトライ回数	LCP ECHO のリトライ回数を入力します。 ※LCP ECHO の再送回数を設定します。この回数の再送を行っても接続先から応答が無い場合、PPPoE 接続を切断します。	
追加 （新規追加時に表示）		入力内容で PPPoE 接続先設定に追加します。追加確定後、「設定反映」ボタンにて本装置に反映されます。	
更新 （編集時に表示）		入力内容で PPPoE 接続先設定を更新します。更新確定後、「設定反映」ボタンにて本装置に反映されます。	
戻る		入力内容を破棄し、「PPPoE」画面に戻ります。	

9.4.2.2 PPPoE接続設定の削除

PPPoE 接続設定の一覧から「削除」ボタンを押すと、選択した PPPoE 接続設定が削除されます。削除後、「設定反映」ボタンにて設定が反映されます。

★ 注意

設定を間違って削除しないように、操作は慎重に行ってください。設定操作を行う前に「システム」メニューの「設定管理」にて、設定ファイルのダウンロードを行うことをお勧めします。詳しくは「9.11.5 「設定管理」タブ」を参照ください。

なお、間違って削除した場合、設定を反映する前であれば、「ログアウト」メニューを選択すると削除前の状態に戻ります。

9.4.3 「固定IP設定」タブ

固定 IP 設定では、固定 IP アドレスによる接続の設定が表示されます。

WAN 接続方法を「固定 IP アドレス」に選択すると、編集および設定が可能となり、WAN 接続が行われます。

項目名		内容	備考
固定 IP 接続設定			
	IPアドレス	WAN 側の IP アドレスを入力します。	入力必須
	サブネットマスク	WAN 側のサブネットマスクを入力します。	入力必須
	ゲートウェイアドレス	WAN 側のデフォルトゲートウェイアドレスを入力します。	入力必須
	DNS アドレス変更	DNS アドレス変更方法を選択します。	・装置設定 ・サーバ割り当て
	プライマリ DNS	プライマリ DNS サーバのアドレスを入力します。	
	セカンダリ DNS	セカンダリ DNS サーバのアドレスを入力します。	
設定		変更内容を確定します。 確定後、「設定反映」ボタンにて設定が本装置に反映されます。	

9.5 「LAN」メニュー

「LAN」メニューでは、LAN 側のネットワーク設定を実施します。

本装置は DHCP 機能を備えており、パソコンなどを接続すると本装置から IP を割り振ることができます。なお、AI多機能電話機および AI-VOIP-TA を接続すると、本装置で機器を識別し、専用の IP アドレスを割り振ります。

● 「LAN」メニューのタブ一覧

メニュー項目	内容	参照
LAN 設定	本装置の LAN 側 IP アドレスや、DHCP 機能の使用設定を行います。	9.5.1 「LAN 設定」タブ
DHCP 設定	DHCP 機能を使用する際の IP アドレスの割り振り設定を行います。	9.5.2 「DHCP 設定」タブ

9.5.1 「LAN設定」タブ

LAN 設定では、本装置の IP アドレスや DHCP 機能の使用設定を行います。なお、かんたん設定が有効の場合、一部の設定が固定となります。

項目名		内容	備考
LAN ネットワーク設定			
	IP アドレス	本装置の IP アドレスを入力します。	かんたん設定が有効の場合、IP アドレスの値が以下に限定されます。 ・ ***.***.***.1 ・ ***.***.***.254 (***は任意のアドレス)
	サブネットマスク	LAN ネットワークのサブネットマスクを入力します。	かんたん設定が有効の場合、「255.255.255.0」で固定となります。
	WINS サーバ	WINS サーバのアドレスを入力します。	WINS サーバを構築している場合に入力します。
	DHCP サービス	DHCP サーバ機能の使用設定を選択します。	かんたん設定が有効の場合、「ON」から変更できません。
設定		変更内容を確定します。 確定後、「設定反映」ボタンにて設定が本装置に反映されます。	

★ 注意

・本装置の IP アドレス設定を変更した場合、かんたん設定の接続情報が初期化されます。内線電話番号が振り直しとなりますのでご注意ください。

・IP アドレスを変更した場合、「設定反映」ボタンを押すと本装置が再起動しますが、かんたん設定にて接続した端末は自動的に再起動しません。端末毎に再起動操作が必要となります。

9.5.2 「DHCP設定」タブ

DHCP 設定は、「DHCP サービス」にて「ON」を選択した場合に選択、設定ができます。

項目名		内容	備考
LAN 側の DHCP 設定			
	その他割当開始アドレス	その他機器に割り振られる IP アドレス範囲を入力します。	
	その他割当終了アドレス		
	IP 電話機割当開始アドレス *1	AI多機能電話機、AI-VOIP-TA に割り振られる IP アドレス範囲を入力します。	
	IP 電話機割当終了アドレス *1		
	IP 電話機配下 PC 割当開始アドレス	（近日対応予定）	
	IP 電話機配下 PC 割当終了アドレス		
設定		変更内容を確定します。 確定後、「設定反映」ボタンにて設定が本装置に反映されます。	

*1 かんたん設定に対応したAI多機能電話機および AI-VOIP-TA を接続した場合に割り当てられる IP アドレスとなります。

9.6 「ルータ」メニュー

「ルータ」メニューでは、パケットフィルタリング機能、DMZ の設定、ルーティング設定などを設定します。

● 「ルータ」メニューのタブ一覧

メニュー項目	内容	参照
IP フィルタ設定	WAN－LAN 間の IP パケットフィルタリング機能を設定します。	9.6.1「IP フィルタ設定」タブ
NAPT/DMZ 設定	NAPT 機能、DMZ 機能を設定します。	9.6.2「NAPT/DMZ 設定」タブ
ルーティング	ルータ間の静的ルーティングを設定します。	9.6.3「ルーティング」タブ

9.6.1 「IPフィルタ設定」タブ

IP フィルタ設定では、WAN－LAN 間のパケットフィルタリング機能を設定します。

項目名		内容	備考
ステートフルパケットインスペクション		有効に設定すると、WAN 側で受信した ACK パケットを識別し、LAN 側から送信されたパケットの応答以外は破棄します。	
	ステートフルパケットインスペクション	ステートフルパケットインスペクション機能の使用を設定します。	OFF/ON
	設定	変更内容を確定します。 確定後、「設定反映」ボタンにて設定が本装置に反映されます。	
IP フィルタ設定		設定した IP フィルタが一覧で表示されます。「No.」によって優先度が設定されます。 （高） 1, 2, 3, … 98, 99 (低)	
	No.	IP フィルタの優先順位を表示します。	編集画面にて順位を振り直し可能です。
	方針	適合するパケットに対する処理を表示します。	拒否/通過

項目名			内容	備考
	プロトコル		フィルタを行うプロトコルを表示します。	UDP/TCP/ICMP/全て
	入力		パケット入力のインターフェースを表示します。	LAN/WAN 全て/VPN/全て
	出力		パケット出力のインターフェースを表示します。	LAN/WAN 全て/VPN/全て
	送信元			
		IP アドレス/マスク	送信元の IP アドレスおよび範囲を表示します。	
		ポート	送信元のポート番号を表示します。	
	宛先			
		IP アドレス/マスク	宛先の IP アドレスおよび範囲を表示します。	
		ポート	宛先のポート番号を表示します。	
	編集		IP フィルタの編集画面を表示します。	「9.6.1.1 IP フィルタの新規追加および編集」を参照
	削除		IP フィルタを削除します。	「9.6.1.2 IP フィルタの削除」を参照
IP フィルタを新規追加			IP フィルタの新規追加画面を表示します。	「9.6.1.1 IP フィルタの新規追加および編集」を参照

9.6.1.1 IPフィルタの新規追加および編集

「IP フィルタを新規追加」のリンクを選択すると、IP フィルタの追加画面を表示します。また、IP フィルタの一覧から「編集」ボタンを押すと、IP フィルタの編集画面を表示します。

項目名		内容	備考
IP フィルタ設定			
	No. （編集時に表示）	優先順位を指定します。 ※新規追加時は優先順位が最低の順位となります。	
	方針	適合するパケットに対する処理を選択します。	拒否/通過

項目名	内容	備考
プロトコル	フィルタを行うプロトコルを選択します。	UDP/TCP/ICMP/全て
入力インターフェース	パケット入力のインターフェースを選択します。	LAN/WAN 全て/VPN/全て
出力インターフェース	パケット入力のインターフェースを選択します。	LAN/WAN 全て/VPN/全て
送信元 IP アドレス/マスク	送信元の IP アドレスと範囲を入力します。	「全て」:全ての IP アドレスが設定されます。 「指定」:IP アドレスを指定し、サブネットマスクを 1～32 の形式で入力します。
送信元ポート	送信元のポート番号を入力します。	「全て」:全てのポートが設定されます。 「指定」:ポート番号の範囲を指定します。
宛先 IP アドレス/マスク	宛先の IP アドレスと範囲を入力します。	「全て」:全ての IP アドレスが設定されます。 「指定」:IP アドレスを指定し、サブネットマスクを 1～32 の形式で入力します。
宛先ポート	宛先のポート番号を入力します。	「全て」:全てのポートが設定されます。 「指定」:ポート番号の範囲を指定します。
追加 (新規追加時に表示)	入力内容で IP フィルタを追加します。 確定後、「設定反映」ボタンにて本装置に反映されます。	
更新 (編集時に表示)	入力内容でIPフィルタの設定を変更します。 確定後、「設定反映」ボタンにて本装置に反映されます。	
戻る	入力内容を破棄し、「IP フィルタ設定」画面に戻ります。	

9.6.1.2 IPフィルタの削除

IP フィルタの一覧から「削除」ボタンを押すと、選択した IP フィルタの設定が削除されます。削除後、「設定反映」ボタンにて設定が反映されます。

★ 注意

フィルタ設定を間違って削除しないように、操作は慎重に行ってください。設定操作を行う前に「システム」メニューの「設定管理」にて、設定ファイルのダウンロードを行うことをお勧めします。詳しくは「9.11.5 「設定管理」タブ」を参照ください。

なお、間違って削除した場合、設定を反映する前であれば、「ログアウト」メニューを選択すると削除前の状態に戻ります。

9.6.2 「NAPT/DMZ設定」タブ

NAPT/DMZ 設定では、NAPT 機能、DMZ 機能を設定します。

項目名		内容	備考
NAPT/DMZ 設定			
	NAPT 機能	NAPT 機能の使用を設定します。 ※NAPT 有効時、NAPT リストの設定に従って WAN 側からの問い合わせを転送します。	OFF/ON
	DMZ 機能	DMZ 機能の使用を設定します。	OFF/ON
	DMZ ホスト	DMZ の転送ホストを設定します。 ※DMZ 有効時、WAN 側からの問い合わせを全て DMZ ホストに転送されます。	
	設定	変更内容を確定します。 確定後、「設定反映」ボタンにて設定が本装置に反映されます。	
NAPT リスト			
	No.	NAPT リストの通し番号を表示します。	
	変換対象プロトコル	対象のプロトコルを表示します。	
	WAN 側対象アドレス	WAN 側 IP アドレスを表示します。	
	WAN 側対象ポート	WAN 側ポート番号を表示します。	
	LAN 側転送アドレス	LAN 側へ転送する IP アドレスを表示します。	
	LAN 側転送ポート	LAN 側へ転送するポート番号を表示します。	
	編集	NAPT 編集画面を表示します。	「9.6.2.1 NAPT リストの新規追加および編集」を参照
	削除	NAPT リストから削除します。	「9.6.2.2 NAPT リストの削除」を参照
NAPT を新規追加		NAPT 新規追加画面を表示します。	「9.6.2.1 NAPT リストの新規追加および編集」を参照

9.6.2.1 NAPTリストの新規追加および編集

「NAPT を新規追加」のリンクを選択すると、NAPT の追加画面を表示します。また、NAPT リスト一覧から「編集」ボタンを押すと、NAPT の編集画面を表示します。

項目名		内容	備考
NAPT 設定			
	プロトコル	対象のプロトコルを選択します。	TCP/UDP/ESP/AH/全て
	WAN 側対象アドレス	WAN 側の IP アドレスを入力します。 ※「自動」の場合はWANに設定されたIPアドレスが設定されます。 「指定」の場合は WAN 側の IP アドレスを入力します。	自動/指定
	WAN 側対象ポート	WAN 側ポート番号を入力します。	
	LAN 側転送アドレス	LAN 側へ転送するIPアドレスを入力します。	
	LAN 側転送ポート	LAN 側へ転送するポート番号を入力します。	
追加 （新規追加時に表示）		入力内容で NAPT を追加します。 確定後、「設定反映」ボタンにて本装置に反映されます。	
更新 （編集時に表示）		入力内容でNAPTの設定を変更します。 変更確定後、「設定反映」ボタンにて本装置に反映されます。	
戻る		入力内容を破棄し、「NAPT/DMZ 設定」画面に戻ります。	

9.6.2.2 NAPTリストの削除

NAPT リストから「削除」ボタンを押すと、選択した NAPT の設定が削除されます。削除後、「設定反映」ボタンにて設定が反映されます。

★ 注意

設定を間違って削除しないように、操作は慎重に行ってください。設定操作を行う前に「システム」メニューの「設定管理」にて、設定ファイルのダウンロードを行うことをお勧めします。詳しくは「9.11.5 「設定管理」タブ」を参照ください。

なお、間違って削除した場合、設定を反映する前であれば、「ログアウト」メニューを選択すると削除前の状態に戻ります。

9.6.3 「ルーティング」タブ

ルーティングでは、静的ルーティングを設定します。

項目名		内容	備考
静的ルーティング			
	No.	静的ルーティングの通し番号を表示します。	
	デバイス指定	デバイス指定を表示します。	
	宛先 IP アドレス	宛先 IP アドレスを表示します。	
	サブネットマスク	サブネットマスクを表示します。	
	ゲートウェイアドレス	ゲートウェイアドレスを表示します。 （デバイス指定がゲートウェイの場合表示します。）	
	編集	静的ルーティング編集画面を表示します。	「9.6.3.1 静的ルーティングの新規追加および編集」を参照
	削除	静的ルーティングを削除します。	「9.6.3.2 静的ルーティングの削除」を参照
静的ルーティングを新規追加		静的ルーティング新規追加画面を表示します。	「9.6.3.1 静的ルーティングの新規追加および編集」を参照

9.6.3.1 静的ルーティングの新規追加および編集

「静的ルーティングを新規追加」のリンクを選択すると、静的ルーティングの追加画面を表示します。また、静的ルーティング一覧画面から「編集」ボタンを押すと、静的ルーティングの編集画面を表示します。

項目名		内容	備考
静的ルーティング			
	宛先 IP アドレス	宛先 IP アドレスを入力します。	
	サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。	
	モード	転送先の指定モード選択します。	デバイス指定/ゲートウェイ指定

項目名		内容	備考
	デバイス指定	デバイス指定モードの場合、デバイスを選択します。	LAN / WAN/ PPPoE1/ PPPoE2/ PPPoE3/ PPPoE4/ PPPoE5/VPN ※WAN 設定により表示デバイスは異なります。
	ゲートウェイアドレス	ゲートウェイ指定モードの場合、ゲートウェイアドレスを入力します。	
追加 (新規追加時に表示)		入力内容で静的ルーティングを追加します。 確定後、「設定反映」ボタンにて本装置に反映されます。	
更新 (編集時に表示)		入力内容で静的ルーティングの設定を変更します。 変更確定後、「設定反映」ボタンにて本装置に反映されます。	
戻る		入力内容を破棄し、「ルーティング」画面に戻ります。	

9.6.3.2　静的ルーティングの削除

静的ルーティングの一覧から「削除」ボタンを押すと、選択した静的ルーティングの設定が削除されます。削除後、「設定反映」ボタンにて設定が反映されます。

★ 注意

設定を間違って削除しないように、操作は慎重に行ってください。設定操作を行う前に「システム」メニューの「設定管理」にて、設定ファイルのダウンロードを行うことをお勧めします。詳しくは「9.11.5 「設定管理」タブ」を参照ください。

なお、間違って削除した場合、設定を反映する前であれば、「ログアウト」メニューを選択すると削除前の状態に戻ります。

9.7 「VPN設定」メニュー

「VPN 設定」メニューでは、拠点間の VPN 接続の設定を行います。

● 「VPN 設定」メニューのタブ一覧

メニュー項目	内容	参照
VPN 設定	VPN 使用設定および VPN クライアントの設定を行います。	9.7.1 「VPN 設定」タブ
VPN サーバ設定	VPN サーバの設定を行います。	9.7.2 「VPN サーバ設定」タブ

9.7.1 「VPN設定」タブ

VPN 設定では、VPN の使用設定および VPN クライアントに設定した場合の証明書設定を行います。

項目名		内容	備考
VPN 共通設定			
	装置の VPN モード	VPN のモード設定を選択します。	使用しない/クライアント/サーバ
	VPN 接続	VPN 接続の使用設定を選択します。	接続しない/接続する
	コモンネーム	装置の識別名称を入力します。	
VPN クライアント設定			
	証明書のアップロード	VPN サーバより発行された証明書を本装置にアップロードします。 ※「参照」ボタンを押してファイルを選択します。	装置の VPN モードが「クライアント」の場合に実施できます。
	証明書のパスフレーズ	アップロードした証明書に設定されているパスフレーズを入力します。	
VPN サーバ設定			
	接続先	VPN サーバの接続先となる WAN 側 IP アドレスまたはドメイン名を入力します。	装置の VPN モードが「サーバ」の場合に実施できます。
設定		変更内容を確定します。 確定後、「設定反映」ボタンにて設定が本装置に反映されます。	

9.7.2 「VPNサーバ設定」タブ

VPN サーバ設定では、装置の VPN モードがサーバの場合に編集、設定ができます。VPN クライアントの追加、編集および VPN クライアント証明書ファイルのダウンロードができます。

項目名		内容	備考
VPN クライアントリスト			
	No.	VPN クライアントの通し番号を表示します。	
	コモンネーム	VPN クライアントの識別名称を表示します。	
	クライアント名称	VPN クライアント装置の名称を表示します。	
	クライアント IP アドレス	VPN クライアント装置の IP アドレスを表示します。	
	クライアントネットマスク	VPN クライアント装置のサブネットマスクを表示します。	
	クライアント証明書有効期限	VPN クライアント証明書の有効期限を表示します。	
	ダウンロード	VPN クライアント証明書ファイルを保存します。 ※保存したファイルを VPN クライアントにアップロードします。	
	編集	VPN クライアント編集画面を表示します。	「9.7.2.1VPN クライアントの新規追加および編集」を参照
	削除	VPN クライアントを削除します。	「9.7.2.2VPN クライアントの削除」を参照
VPN クライアントの新規追加		VPN クライアント新規追加画面を表示します。	「9.7.2.1VPN クライアントの新規追加および編集」を参照

9.7.2.1 VPNクライアントの新規追加および編集

「VPN クライアントを新規追加」のリンクを選択すると、VPN クライアントの追加画面を表示します。また、VPN クライアント一覧画面から「編集」ボタンを押すと、VPN クライアントの編集画面を表示します。

項目名		内容	備考
VPN クライアント設定			
	コモンネーム	VPN 接続で使用するコモンネームを入力します。	
	クライアント名称	VPN クライアント装置の名称を入力します。	
	クライアント IP アドレス	VPN クライアント装置の LAN 側 IP ネットワークアドレスを入力します。	
	クライアントネットマスク	VPN クライアント装置の LAN 側 IP ネットワークのサブネットマスクを入力します。	
	証明書のパスフレーズ	VPN クライアント証明書に設定するパスフレーズを入力します。	
追加 （新規追加時に表示）		入力内容で VPN クライアントを追加します。 確定後、「設定反映」ボタンにて本装置に反映されます。	
更新 （編集時に表示）		入力内容で VPN クライアントの設定を変更します。 変更確定後、「設定反映」ボタンにて本装置に反映されます。	
戻る		入力内容を破棄し、「VPN サーバ設定」画面に戻ります。	

9.7.2.2 VPNクライアントの削除

VPN クライアントの一覧から「削除」ボタンを押すと、選択した VPN クライアントの設定が削除されます。削除後、「設定反映」ボタンにて設定が反映されます。

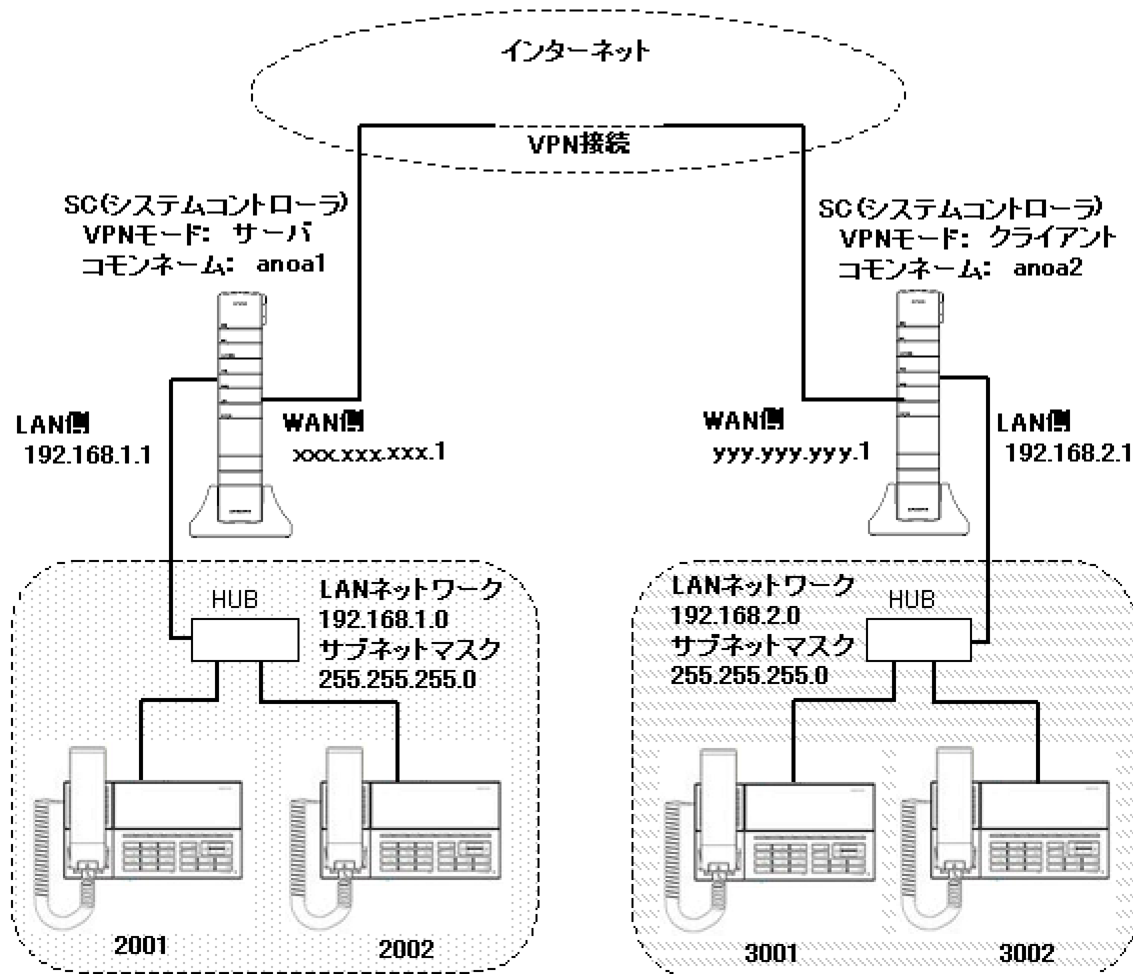
★ 注意

設定を間違って削除しないように、操作は慎重に行ってください。設定操作を行う前に「システム」メニューの「設定管理」にて、設定ファイルのダウンロードを行うことをお勧めします。詳しくは「9.11.5 「設定管理」タブ」を参照ください。

なお、間違って削除した場合、設定を反映する前であれば、「ログアウト」メニューを選択すると削除前の状態に戻ります。

9.7.3　　VPN接続の設定例

以下の VPN 接続を例に、VPNの設定方法を記載します。



① VPN サーバの設定

※ WAN 設定および LAN 設定は接続図通りに設定されているものとします。

1. 「VPN」メニューの「VPN 設定」タブにて以下の設定を行い、「設定」ボタンを押します。

装置の VPN モード:	「サーバ」	
VPN 接続:	「使用する」	
接続先:	xxx.xxx.xxx.1	※WAN 側 IP アドレスを入力
コモンネーム:	anoa1	

2. 「VPN」メニューの「VPN サーバ設定」タブにて「VPN クライアントの新規追加」のリンクを選択し、VPN クライアント新規追加画面を表示します。

3．以下の設定を行い、「追加」ボタンを押します。

コモンネーム：	anoa2	
クライアント名称：	クライアント1	
クライアント IP アドレス：	192.168.2.0	※クライアントの LAN 側 IP ネットワーク
クライアントネットマスク：	255.255.255.0	※クライアントの LAN 側 IP ネットワーク
証明書のパスフレーズ：	（パスフレーズを入力）	

4．VPN クライアントリストから「ダウンロード」ボタンを押し、クライアント証明書をファイルに保存します。

5．「設定反映」ボタンを押し、設定をＳＣ（システムコントローラ）に反映します。

② VPN クライアントの設定

※ WAN 設定および LAN 設定は接続図通りに設定されているものとします。

※ 「①VPN サーバの設定」にて作成したクライアント証明書を使用します。

1．「VPN」メニューの「VPN 設定」タブにて以下の設定を行います。

装置の VPN モード：	「クライアント」
VPN 接続：	「使用する」
コモンネーム：	anoa2

2．VPN クライアント設定の「証明書のアップロード」にて「参照」ボタンを押し、VPN サーバにて作成したクライアント証明書を選択します。

3．「証明書のパスフレーズ」欄に VPN サーバにて設定したパスフレーズを入力します。

4．「設定」ボタンを押し、設定を確定します。

5．「設定反映」ボタンを押し、設定をＳＣ（システムコントローラ）に反映します。

③ 接続の確認

・ VPN サーバ、VPN クライアント共に「システム」メニューの「システム情報」タブを表示し、「VPN 接続状況」欄にて接続状況が表示されることを確認してください。

・ VPN サーバ内ネットワークと VPN クライアント内ネットワークの間で、それぞれの IP アドレスを使用した通信ができることを確認してください。

9.8 「装置連携設定」メニュー

「装置連携設定」メニューでは、SC（システムコントローラ）間の連携設定を行います。

●「装置連携設定」のタブ一覧

メニュー項目	内容	参照
装置連携設定	装置連携における使用設定および自拠点番号の設定を行います。	9.8.1「装置連携設定」タブ
連携サーバ設定	連携サーバに設定した場合の設定を行います。	9.8.2「連携サーバ設定」タブ
連携クライアント設定	連携クライアントに設定した場合の設定を行います。	9.8.3「連携クライアント設定」タブ

★ 注意

装置連携機能を使用すると、内線電話番号の上一桁が拠点番号として使用されます。このため、内線番号を2桁で設定すると接続できる電話機の数が少なくなります(最大10台)。内線番号の設定は3桁以上に設定することをお勧めします。

9.8.1 「装置連携設定」タブ

装置連携設定では、装置連携における使用設定および自拠点番号の設定を行います。

項目名		内容	備考
装置連携設定			
	装置連携	装置連携の使用設定、およびサーバ/クライアントの切り替えを選択します。	使用しない/ 連携サーバ/ 連携クライアント
	自拠点番号	自拠点番号を入力します。 ※連携機能使用時、上 1 桁目に割り当てる番号です。上 1 桁目で対応するSC（システムコントローラ）を選択します。	2～9 から選択
設定		変更内容を確定します。 確定後、「設定反映」ボタンにて設定が本装置に反映されます。	

9.8.2 「連携サーバ設定」タブ

連携サーバ設定では、連携サーバに設定した場合に編集、設定が可能です。使用するインターフェースとクライアントの拠点番号を設定します。

項目名		内容	備考
連携サーバ設定			
	使用インターフェース	連携クライアントが接続されているインターフェースを選択します。	LAN/ VPN
	使用ポート	拠点間の通信に使用するポートを表示します。	25060 に固定
	クライアント拠点番号	クライアント拠点番号の設定します。 ※連携機能使用時、内線番号上 1 桁目にてクライアント拠点番号を割り当てます。	
設定		変更内容を確定します。 確定後、「設定反映」ボタンにて設定が本装置に反映されます。	

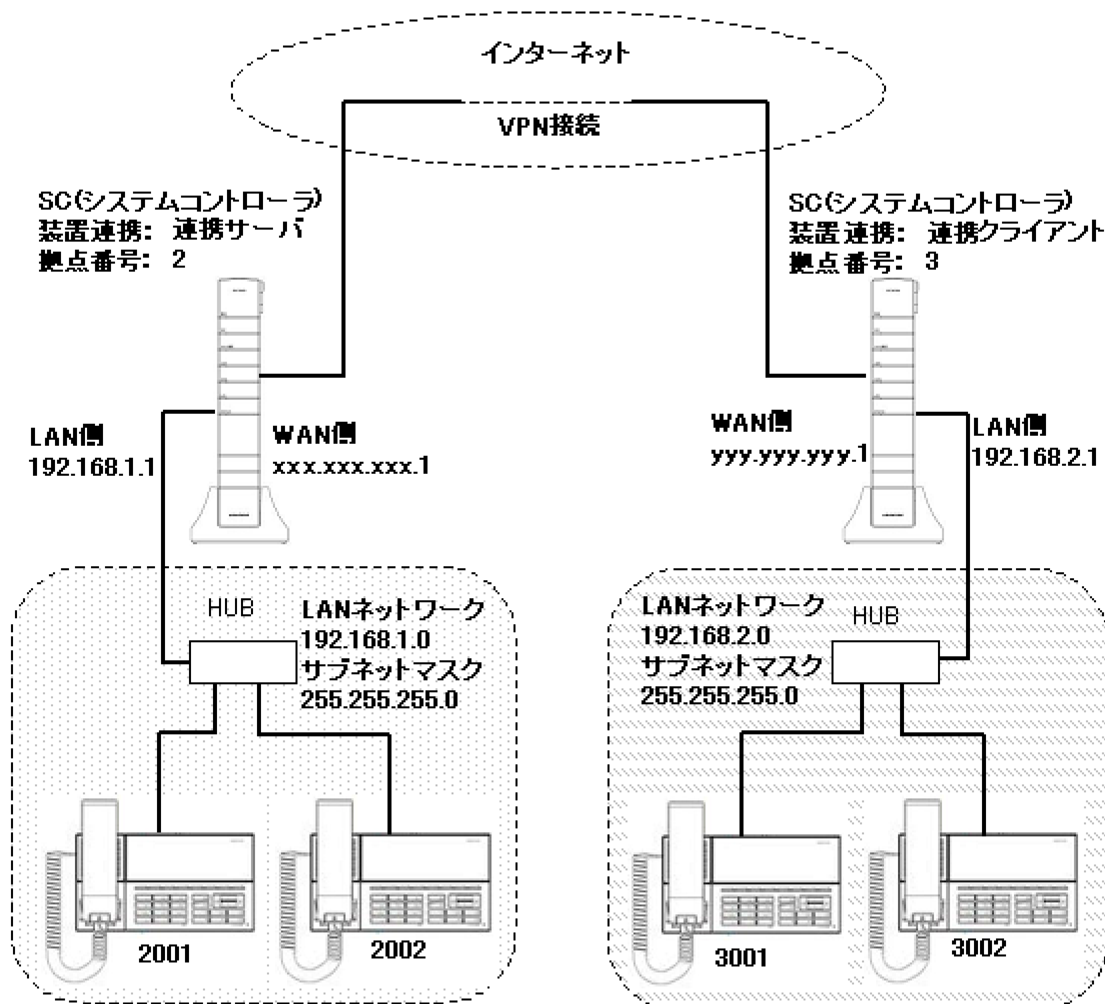
9.8.3 「連携クライアント設定」タブ

連携クライアント設定では、使用装置が連携クライアントに設定した場合に編集、設定が可能です。連携サーバの IP アドレスを設定します。

項目名		内容	備考
連携クライアント設定			
	連携サーバ IP アドレス	連携サーバの IP アドレスを入力します。	
	連携サーバポート	拠点間の通信に使用するポートを表示します。	25060 に固定
設定		変更内容を確定します。 確定後、「設定反映」ボタンにて設定が本装置に反映されます。	

9.8.4 装置連携設定の設定例

以下の装置連携設定を例に、接続の設定方法を記載します。



① 連携サーバの設定

※ WAN 設定および LAN 設定は接続図通りに設定されているものとします。

※ 連携クライアントとの VPN 接続については、「9.7.3 VPN 接続設定の設定例」を参照ください。「システム」メニューの「システム情報」タブにて、「VPN 接続 IP アドレス」を確認し、記録しておきます。(連携クライアント側の設定に必要となります。)

※ 内線電話番号は接続図通りに設定されているものとします。内線電話番号の上 1 桁は一つのSC(システムコントローラ)内で同じ番号とします。

1. 「装置連携設定」メニューの「装置連携設定」タブにて以下の設定を行い、「設定」ボタンを押します。

装置連携:　　「連携サーバ」

自拠点番号:　　2　　※内線電話番号の上一桁

2．「装置連携設定」メニューの「装置連携サーバ設定」タブにて以下の設定を行い、「設定」ボタンを押します。

使用インターフェース:　「VPN」
使用ポート:　「25060」　※固定値
クライアント拠点番号:　「3」のみチェック　※連携クライアントの拠点番号

3．「設定反映」ボタンを押し、設定をＳＣ（システムコントローラ）に反映します。

② 連携クライアントの設定

※ WAN 設定および LAN 設定は接続図通りに設定されているものとします。
※ 連携サーバとの VPN 接続については、「9.7.3 VPN 接続設定の設定例」を参照ください。VPN 接続の場合は、連携サーバの「VPN 接続 IP アドレス」が必要となります。
※ 内線電話番号は接続図通りに設定されているものとします。内線電話番号の上 1 桁は一つのＳＣ（システムコントローラ）内で同じ番号とします。

1．「装置連携設定」メニューの「装置連携設定」タブにて以下の設定を行い、「設定」ボタンを押します。

装置連携:　「連携クライアント」
自拠点番号:　3　※内線電話番号の上一桁

2．「装置連携設定」メニューの「装置連携サーバ設定」タブにて以下の設定を行い、「設定」ボタンを押します。

連携サーバ IP アドレス:　10.99.98.1　※ 連携サーバの VPN 接続 IP アドレス
連携サーバポート:　「25060」　※ 固定値

3．「設定反映」ボタンを押し、設定をＳＣ（システムコントローラ）に反映します。

③ 接続の確認

・ 内線電話を行い、拠点内通話および別拠点への通話が出来ることを確認してください。
・ それぞれの拠点から外線通話ができることを確認してください。

9.9 「IP電話設定」メニュー

「IP 電話設定」メニューでは、システムに接続する電話機や電話機グループの設定を行います。

● 「IP 電話設定」のタブ一覧

メニュー項目	内容	参照
サーバ設定	IP 電話サーバが提供する機能に関する設定を行います。	9.9.1 「サーバ設定」タブ
端末設定	・内線端末設定の表示・編集を行います。 （かんたん設定の登録端末を含む） ・内線端末の新規追加を行います。	9.9.2 「端末設定」タブ
着信設定	外線着信における着信音鳴動端末の設定（グループ単位で設定）を行います。	9.9.3 「着信設定」タブ
グループ設定	外線着信や内線グループ発信におけるグループ設定を行います。	9.9.4 「グループ設定」タブ
ピックアップ設定	コールピックアップグループの設定を行います。	9.9.5 「ピックアップ設定」タブ

9.9.1 「サーバ設定」タブ

サーバ設定では、IP 電話サーバが提供する機能に関する設定を行います。

項目名		内容	備考
SIP サーバ機能			
	運用モード ＊1	ラインキーの運用モードを選択します。	・ワンタッチモード ・レガシーモード
	ラインキー設定 1 ＊1 ラインキー設定 2 ＊1	レガシーモードにおいて、各ラインキーに対応する外線番号を選択します。 ワンタッチモードでは無効となります。	設定無し、外線 1 番～外線 32 番 外線番号の設定については「9.9.3「着信設定」タブ」を参照下さい。
	ラインキー設定 3 ＊1		
	ラインキー設定 4 ＊1		
	ラインキー設定 5 ＊1		
	ラインキー設定 6 ＊1		
	ラインキー設定 7 ＊1		
	ラインキー設定 8 ＊1		
	優先モード＊1	かんたん設定にて設定する優先モードを選択します。	・内線優先モード ・外線優先モード ・自動識別モード
	内線割当開始番号 ＊1 ＊2	かんたん設定にて割り当てる内線番号の開始番号を入力します。	かんたん設定 ON 時は 設定変更不可となります。 初期値：20
	SIP サーバポート ＊1 ＊2	SIP サーバの接続ポートを入力します。	かんたん設定 ON 時は 設定変更不可となります。 初期値：15060
	パーク保留音	パーク保留音を 3 種類から選択します。	パーク保留音 1 「プレリュード」 パーク保留音 2 「ラ・カンパネラ」 パーク保留音 3 「カノン」
設定		変更内容を確定します。 確定後、「設定反映」ボタンにて設定が本装置に反映されます。	

*1 「基本設定」では表示されない項目です。

*2 「内線割当開始番号」および「SIP サーバポート」を変更する場合は、かんたん設定を無効に設定してから実施する必要があります。変更するには、「システム」メニューの「システム設定」タブから、「かんたん設定」を「OFF」に設定します。詳しくは、「9.11.2 「システム設定」タブ」を参照ください。

9.9.2 「端末設定」タブ

端末設定では、設定された内線端末の一覧を表示します。また、内線端末の設定編集や、内線端末の新規追加を実施します。

項目名		内容	備考
端末設定		登録された内線番号の一覧が表示されます。	
	No.	内線端末の通し番号を表示します。	
	端末番号	内線番号を表示します。	
	端末環境	かんたん設定で登録された端末は「オートプロビジョニング」と表示されます。 手動で新規追加を行った場合は「カスタム」と表示されます。	
	編集	内線端末設定の編集画面を表示します。	「9.9.2.1 内線端末の新規追加および編集」を参照
	削除	選択した内線端末の設定を削除します。	「9.9.2.2 内線端末の削除」を参照
内線端末を新規追加		内線端末設定の新規追加画面を表示します。 ※追加した端末は「端末環境」で「カスタム」と表示されます。	「9.9.2.1 内線端末の新規追加および編集」を参照

9.9.2.1 内線端末の新規追加および編集

「内線端末を新規追加」のリンクを選択すると、内線端末の追加画面を表示します。また、内線端末一覧画面から「編集」ボタンを押すと、内線端末の編集画面を表示します。

項目名		内容	備考
端末設定			
	端末番号	内線電話番号を入力します。	入力必須
	端末種別 *1	接続端末の種類を表示します。	変更不可
	端末環境	かんたん設定は「オートプロビジョニング」と表示します。 手動設定は「カスタム」と表示します。	変更不可
	端末名称 *2	「内線電話帳」における名称を入力します。	入力必須
	端末名称ﾌﾘｶﾞﾅ *2	「内線電話帳」におけるフリガナを入力します。	入力必須
	内線電話帳グループ *2	「内線電話帳」におけるグループ設定を行います。	空白の場合は「グループなし」
	メールアドレス	メールアドレスを入力します。	
	アカウント *3	端末設定を適用するアカウント名を入力します。	入力必須
	パスワード *3	端末設定を適用するパスワードを入力します。	入力必須
	IP アドレス *3	端末設定を適用する装置の IP アドレスを入力します。	
	MAC アドレス *3	端末設定を適用する装置の MAC アドレスを入力します。	
	外線発信番号	外線発信時の自局電話番号を選択します。	リストから選択
	ファームウェア自動更新 *4	電話機ファームウェアアップデートの対応を設定します。 ※ファームウェアアップデートの詳細については「9.11.7 「ファーム更新」タブ」を参照下さい。	ON/OFF
	ファームウェアバージョン *4	内線端末のファームウェアバージョンを表示	変更不可

項目名		内容	備考
発信規制		内線端末設定毎に発信制限を設定します。	
	外線発信	外線の発信全般の発信を許可します。 ※不許可の場合、他の規制も不許可になります。	不許可／許可
	市外	市外局番を使用した発信を許可します。 ※不許可の場合、国際電話、携帯・PHS、ナビダイヤルも不許可になります。	不許可／許可
	国際電話	国際電話の発信を許可します。	不許可／許可
	携帯・PHS	携帯電話および PHS への発信を許可します。	不許可／許可
	ナビダイヤル	ナビダイヤル発信を許可します。	不許可／許可
追加 （新規追加時に表示）		入力内容で内線端末を追加します。 確定後、「設定反映」ボタンにて本装置に反映されます。	
更新 （編集時に表示）		入力内容で内線端末の設定を変更します。 変更確定後、「設定反映」ボタンにて本装置に反映されます。	
戻る		入力内容を破棄し、「端末設定」画面に戻ります。	

*1 かんたん設定で登録した内線端末の編集時のみ本項目を表示します。

*2 「内線電話帳」は共有アドレス帳と同様にAI多機能電話機に表示ができます。詳しくは「10 共有アドレス帳」を参照ください。

*3 かんたん設定で登録した内線端末の編集時では変更はできません。

*4 「基本設定」では表示されない項目です。

9.9.2.2　内線端末の削除

内線端末一覧画面から「削除」ボタンを押すと、選択した内線端末の設定が削除されます。削除後、「設定反映」ボタンにて設定が反映されます。

★ 注意

内線端末を間違って削除しないように、操作は慎重に行ってください。設定操作を行う前に「システム」メニューの「設定管理」にて、設定ファイルのダウンロードを行うことをお勧めします。詳しくは「9.11.5 「設定管理」タブ」を参照ください。

なお、間違って削除した場合、設定を反映する前であれば、「ログアウト」メニューを選択すると削除前の状態に戻ります。

☆ ポイント

かんたん設定で登録した内線端末設定を削除することもできます。削除した設定の電話機を接続した状態のまま「設定反映」を行うと、再起動時に改めてかんたん設定による内線番号の登録が行われます。

9.9.3 「着信設定」タブ

着信設定では、設定されている外線端末番号の一覧が表示されます。また、外線端末番号あてに電話着信した場合に、着信が鳴動する電話機を設定することができます。

項目名		内容	備考
着信設定		登録済みの外線端末を一覧表示します。 ※外線端末番号は初回 WAN 接続時に自動的に登録されます。	
	No.	外線端末番号の通し番号を表示します。	
	外線端末番号	外線端末の電話番号を表示します。	固定値
	グループ名	外線端末の電話番号が着信した際に着信音を鳴動する電話機を選択します。 グループがリスト表示されるので、鳴動する電話機をグループ単位で選択します。	グループは「グループ設定」タブにて設定を行います。 初期値：Default
設定		変更内容を確定します。 確定後、「設定反映」ボタンにて設定が本装置に反映されます。	

9.9.4 「グループ設定」タブ

グループ設定では、「着信設定」にて外線着信音を鳴動する電話機のグループを設定することができます。また、「グループ代表番号」を設定することにより、内線の発信をグループ宛に行うことができます。

項目名		内容	備考
グループリスト		登録したグループを一覧表示します。	
	No.	グループの通し番号を表示します。	
	グループ名	グループの名称を表示します。 ※「着信設定」において、選択リストにこのグループ名が表示されます。	
	グループ代表番号	設定されている場合はグループ代表番号を表示します。	※内線端末からグループ代表番号あてに発信すると、グループに登録された端末全てに内線着信が鳴動します。
	端末数	グループに登録された内線端末数を表示します。	
	編集	グループ設定の編集画面を表示します。	「9.9.4.1 グループの新規追加および編集」を参照
	削除	グループ設定を削除します。	「9.9.4.2 グループ設定の削除」を参照 “Default”グループは削除不可
グループを新規追加		グループ設定の追加画面を表示します。	「9.9.4.1 グループの新規追加および編集」を参照

☆ ポイント

かんたん設定にて登録された端末については、自動的に”Default”グループに登録されます。「端末設定」タブから「内線端末の新規追加」で設定した内線端末はグループに登録されません。

9.9.4.1 グループの新規追加および編集

「グループを新規追加」のリンクを選択すると、グループ設定の追加画面を表示します。また、グループ一覧から「編集」を選択するとグループ設定の編集画面を表示します。

項目名		内容	備考
グループ設定			
	グループ名	グループの名称を入力します。	入力必須
	グループ代表番号	グループ代表番号を入力します。	
	グループ端末リスト	グループに登録する端末を選択します。 ※現在登録されている内線端末がチェックボックス形式で表示されていますので、登録する端末にチェックを入れます。	
追加 （新規追加時に表示）		入力内容でグループ設定に追加します。 追加確定後、「設定反映」ボタンにて本装置に反映されます。	
更新 （編集時に表示）		入力内容でグループ設定を更新します。 更新確定後、「設定反映」ボタンにて本装置に反映されます。	
戻る		入力内容を破棄し、「グループ設定」画面に戻ります。	

9.9.4.2 グループ設定の削除

グループ設定画面から「削除」ボタンを押すと、選択したグループ設定が削除されます。削除後、「設定反映」ボタンにて設定が反映されます。

★ 注意

- ”Default”グループは削除できません。
- グループ設定を間違って削除しないように、操作は慎重に行ってください。設定操作を行う前に「システム」メニューの「設定管理」にて、設定ファイルのダウンロードを行うことをお勧めします。詳しくは「9.11.5 「設定管理」タブ」を参照ください。なお、間違って削除した場合、設定を反映する前であれば、「ログアウト」メニューを選択すると削除前の状態に戻ります。

9.9.5 「ピックアップ設定」タブ

ピックアップ設定では、コールピックアップを有効にするグループを設定することができます。ピックアップグループ内の内線端末あてに電話がかかってきたとき、ハンドセットを上げて[＊]ボタンを押すと、代理で応答することができます。

なお、「グループ設定」タブにて登録したグループでもコールピックアップ操作が可能です。

項目名		内容	備考
ピックアップグループリスト		登録したピックアップグループを一覧表示します。	
	No.	ピックアップグループの通し番号を表示します。	
	グループ名	ピックアップグループの名称を表示します。	
	端末数	ピックアップグループに登録された内線端末数を表示します。	
	編集	ピックアップグループ設定の編集画面を表示します。	「9.9.5.1 ピックアップグループの新規追加および編集」を参照ください。
	削除	ピックアップグループ設定を削除します。	「9.9.5.2 ピックアップグループ設定の削除」を参照ください。 “Default”グループは削除できません。
ピックアップグループを新規追加		ピックアップグループ設定の新規追加画面を表示します。	「9.9.5.1 ピックアップグループの新規追加および編集」を参照ください。

☆ ポイント

かんたん設定にて登録された電話機については、自動的に”Default”グループに登録されます。手動で設定した内線端末はグループに登録されません。

9.9.5.1 ピックアップグループの新規追加および編集

「ピックアップグループを新規追加」のリンクを選択すると、ピックアップグループ設定の追加画面を表示します。また、ピックアップグループ一覧から「編集」を選択するとピックアップグループ設定の編集画面を表示します。

項目名		内容	備考
ピックアップグループ設定			
	グループ名	ピックアップグループの名称を入力します。	入力必須
	グループ端末リスト	ピックアップグループに登録する端末を選択します。 ※現在登録されている内線端末がチェックボックス形式で表示されていますので、登録する端末にチェックを入れます。	
追加 （新規追加時に表示）		入力内容でピックアップグループ設定に追加します。 追加確定後、「設定反映」ボタンにて本装置に反映されます。	
更新 （編集時に表示）		入力内容でピックアップグループ設定を更新します。 更新確定後、「設定反映」ボタンにて本装置に反映されます。	
戻る		入力内容を破棄し、「ピックアップグループ設定」画面に戻ります。	

9.9.5.2 ピックアップグループ設定の削除

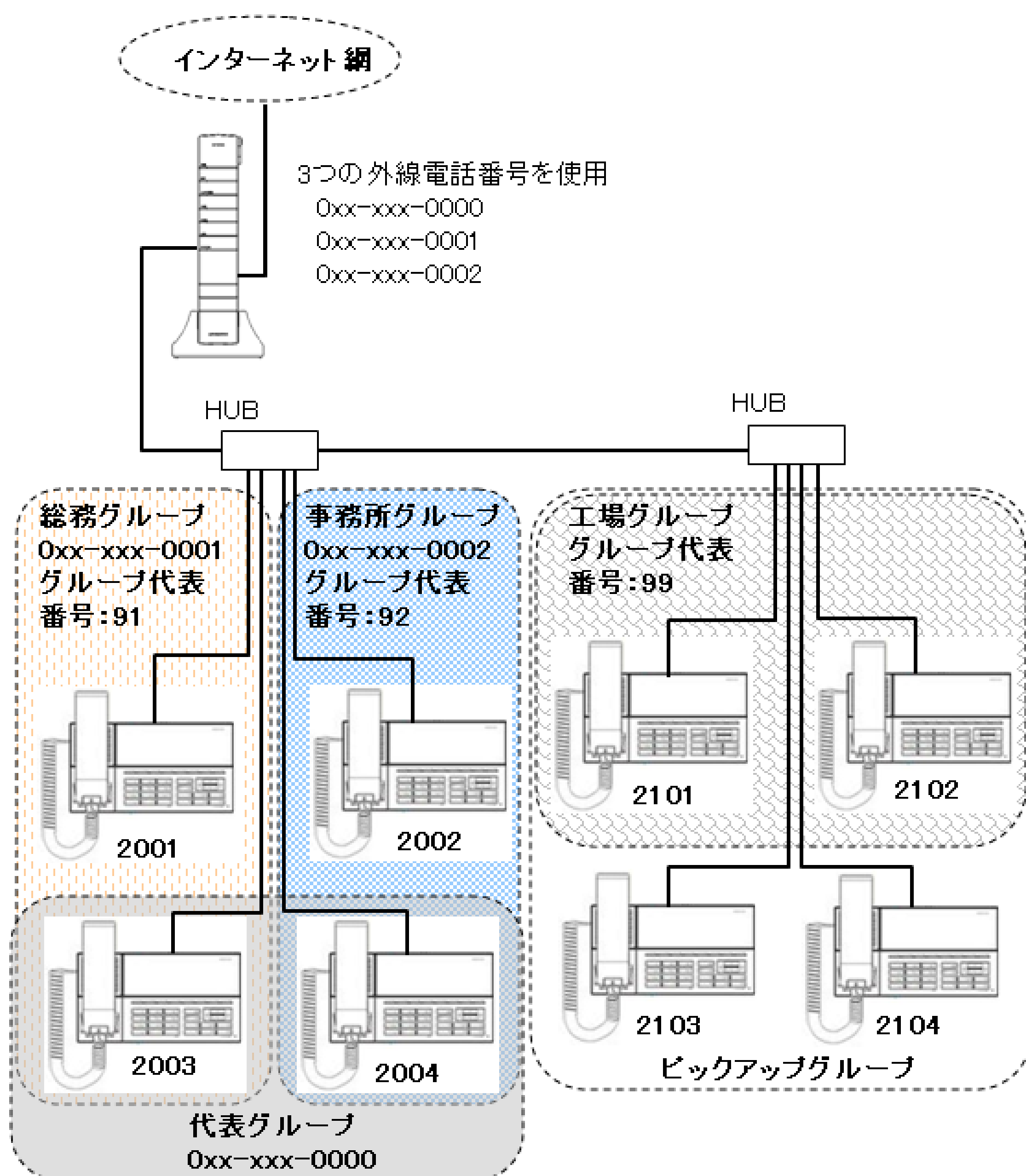
ピックアップグループ設定画面から「削除」ボタンを押すと、選択したピックアップグループ設定が削除されます。削除後、「設定反映」ボタンにて設定が反映されます。

★ 注意

- ”Default”グループは削除できません。
- ピックアップグループ設定を間違って削除しないように、操作は慎重に行ってください。設定操作を行う前に「システム」メニューの「設定管理」にて、設定ファイルのダウンロードを行うことをお勧めします。詳しくは「9.11.5 「設定管理」タブ」を参照ください。なお、間違って削除した場合、設定を反映する前であれば、「ログアウト」メニューを選択すると削除前の状態に戻ります。

9.9.6　グループ設定の設定例

以下の接続図を例に、グループ設定方法と着信時の動作を記載します。



● 接続図における着信設定一覧

着信種別	着信電話番号	着信端末 *1	コールピックアップ *2
外線着信	0xx-xxx-0000	2003, 2004	2001, 2002
	0xx-xxx-0001	2001, 2003	2004
	0xx-xxx-0002	2002, 2004	2003
内線着信（一部）	2001	2001	2003
	2003	2003	2001, 2004
	2103	2103	2101, 2102, 2104
グループ宛の内線着信	91	2001, 2003	2004
	92	2002, 2004	2003
	99	2101, 2102	2103,2104

*1 着信音が鳴ります。ハンドセットを上げると通話ができます。

*2 着信音は鳴りませんが、ハンドセットを上げて[＊]キーを押すと通話ができます。

① SC(システムコントローラ)の設定

※ WAN 設定は接続図通りに設定されているものとします。

※ 各内線端末は、接続図通りの内線番号に設定されているものとします。

1． 「IP 電話設定」メニューの「グループ設定」タブを表示します。

2． 「グループを新規追加」のリンクを選択し、以下の通りグループを追加します。

グループ名： 代表グループ

グループ代表番号： （空白）

グループ端末リスト： “2003”,”2004”にチェック、その他の端末はチェックなし

3． 手順2と同様に総務グループ、事務所グループ、工場グループを設定します。

●総務グループ

グループ名： 総務グループ

グループ代表番号： 91

グループ端末リスト： “2001”,”2003”にチェック、その他の端末はチェックなし

●事務所グループ

グループ名： 事務所グループ

グループ代表番号： 92

グループ端末リスト： “2002”,”2004”にチェック、その他の端末はチェックなし

●工場グループ

グループ名： 工場グループ

グループ代表番号： 99

グループ端末リスト： “2101”,”2102”にチェック、その他の端末はチェックなし

4. ”Default”グループの「編集」ボタンを押し、グループ端末リストから全ての端末のチェックをはずします。

5. 「IP 電話設定」メニューの「ピックアップ設定」タブを表示します。
6. 「ピックアップグループを新規追加」のリンクを選択し、以下の通りグループを追加します。
   グループ名:　　　　　ピックアップグループ
   グループ端末リスト:　　“2101”,”2102”,“2103”,”2104”にチェック、他はチェックなし
7. ”Default”グループの「編集」ボタンを押し、グループ端末リストから全ての端末のチェックをはずします。

8. 「IP 電話設定」メニューの「着信設定」タブを表示します。
9. 表示されている外線電話番号について、グループ名をリストから選択し、「設定」ボタンを押します。
   0xx-xxx-0000:　代表グループ
   0xx-xxx-0001:　総務グループ
   0xx-xxx-0002:　事務所グループ
10. 「設定反映」ボタンを押し、設定を SC(システムコントローラ)に反映します。

② グループ設定の確認
・「接続図における着信設定一覧」を参照し、一覧表通りの着信ができることを確認します。

9.10 「MFP連携」メニュー

MFP 連携機能は、複合機(MFP)と本装置間を SNMP プロトコルにて連携する機能です。MFP から Trap メッセージを本装置で受信した場合、対応する IP 電話機あてにメッセージを通知することができます。

「MFP 連携」メニューは、MFP 連携機能に関する通信設定を行います。

項目名		内容	備考
MFP 連携設定			
	MFP 連携	MFP 連携機能の使用を表示します。	OFF/ON
	コミュニティ名 *1	MFP 機器名を入力します。	
	設定	入力内容でMFP連携機能の使用設定を変更します。 変更確定後、「設定反映」ボタンにて設定が反映されます。	
MFP 連携機器リスト			
	No.	MFP 連携機器の通し番号を表示します。	
	識別名称	MFP 連携機器の識別名称を表示します。 ※IP 電話機に送信されるメッセージの識別に使用されます。	
	IP アドレス	MFP 連携機器の IP アドレスを表示します。	
	MAC アドレス	MFP 連携機器の MAC アドレスを表示します。	
	通知台数	MFP 連携機器のメッセージを通知する IP 電話機の台数を表示します。	
	編集	MFP 連携機器の編集画面を表示します。	
	削除	MFP 連携機器設定を削除します。	
MFP 機器を新規追加		MFP 連携機器の新規追加画面を表示します。	

*1 「基本設定」では表示されない項目です。

★ 注意

MFP 連携機能を使用するためには、別途 MFP 機器の設定が必要です。設定方法につきましては、MFP 機器の取扱説明書をご覧ください。

9.10.1　MFP連携機器の新規追加および編集

「MFP 機器を新規追加」のリンクを選択すると、MFP 連携機器設定の追加画面を表示します。また、MFP 連携機器一覧から「編集」を選択するとMFP 連携機器設定の編集画面を表示します。

項目名		内容	備考
MFP 連携			
	識別名称	MFP 連携機器の識別名称を入力します。 ※IP 電話機に送信されるメッセージの識別に使用されます。	入力必須
	IP アドレス	MFP 連携機器の IP アドレスを入力します。	入力必須
	MAC アドレス	MFP 連携機器の MAC アドレスを入力します。	入力必須
	通知イベント	MFP にてチェックを入れた内容のイベントが発生した際に、IP 電話機へ通知を行います。 用紙切れ発生/用紙切れ解除/ トナー残量少発生/トナー残量少解除/ トナー切れ発生/トナー切れ解除/ 紙づまり発生/紙づまり解除/ FAX 受信正常終了	
	通知端末	メッセージを送信する端末を選択します。 ※現在登録されている内線端末がチェックボックス形式で表示されていますので、登録する端末にチェックを入れます。	
追加 （新規追加時に表示）		入力内容で MFP 連携機器設定を追加します。 追加確定後、「設定反映」ボタンにて設定が反映されます。	
更新 （編集時に表示）		入力内容で MFP 連携機器設定を更新します。 更新確定後、「設定反映」ボタンにて設定が反映されます。	
戻る		入力内容を破棄し、「MFP 連携」画面に戻ります。	

9.10.2　MFP連携機器の削除

「MFP 連携」画面から「削除」ボタンを押すと、選択した MFP 連携機器設定が削除されます。削除後、「設定反映」ボタンにて設定が反映されます。

★ 注意

設定を間違って削除しないように、操作は慎重に行ってください。設定操作を行う前に「システム」メニューの「設定管理」にて、設定ファイルのダウンロードを行うことをお勧めします。詳しくは「9.11.5 「設定管理」タブ」を参照ください。

なお、間違って削除した場合、設定を反映する前であれば、「ログアウト」メニューを選択すると削除前の状態に戻ります。

9.11 「システム」メニュー

「システム」メニューでは、システム情報の表示やアップデートなどの操作を行います。

● 「システム」メニューのタブ一覧

メニュー項目	内容	参照
システム情報	システムのハードウェア情報および WAN 接続の接続状況を表示します。	9.11.1「システム情報」タブ
システム設定 *1	かんたん設定の使用設定や、Web 設定画面の管理設定、メール通知設定を行います。	9.11.2「システム設定」タブ
時刻設定	時刻の設定を行います。ログ表示および電話機設定時刻等に影響があります。	9.11.3「時刻設定」タブ
共有アドレス帳	共有アドレス帳機能の設定および編集機能の設定を行います。	9.11.4「共有アドレス帳」タブ
設定管理	設定情報のバックアップおよびリストアを行います。	9.11.5「設定管理」タブ
再起動	本装置の再起動を行います。	9.11.6「再起動」タブ
ファーム更新	本装置のファームウェアアップデートおよびかんたん設定接続機器のファームウェアアップデートを行います。	9.11.7「ファーム更新」タブ
ログ	各種ログの表示とログファイルの取得を行います。	9.11.8「ログ」タブ
SDDNS *1	SDDNS の設定を行います。	9.11.9「SDDNS」タブ

*1 「基本設定」では表示されない項目です。

9.11.1 「システム情報」タブ

システム情報では、システムのハードウェア情報および WAN 接続の接続状況を表示します。

項目名		内容	備考
システム情報			
	Software Version	本装置のファームウェアバージョンを表示します。	
	WAN MAC	WAN ポート側の MAC アドレスを表示します。	
	LAN MAC	LAN ポート側の MAC アドレスを表示します。	
	Running Time	電源 ON 時点からの稼動時間を表示します。	
PPPoE 接続状況		PPPoE 接続設定(No.1～No.4)における接続状況を表示します。	
	No.	PPPoE 接続設定の通し番号を表示します。	
	接続先名称	PPPoE 接続設定の名称を表示します。	
	接続状態	PPPoE 接続の状態を表示します。	
	WAN 側 IP アドレス	PPPoE 接続時の WAN 側 IP アドレスを表示します。	
	接続先 IP アドレス	PPPoE 接続時のゲートウェイアドレスを表示します。	
	プライマリ DNS	PPPoE 接続時の DNS サーバアドレス(プライマリ)を表示します。	
	セカンダリ DNS	PPPoE 接続時の DNS サーバアドレス(セカンダリ)を表示します、	
VPN 接続状況		VPN 接続状況を表示します。	
	接続状態	VPN 設定の接続状態を表示します。	
	VPN 接続 IP アドレス	VPN 接続時の WAN 側 IP アドレスを表示します。	
	VPN 接続ネットマスク	VPN 接続時の WAN 側サブネットマスクを表示します。	
SDDNS 登録状況		SDDNS 登録状況を表示します。	
	登録状態	SDDNS との登録状態を表示します。	
	登録名	SDDNS にて登録した名称を表示します。	
更新		表示内容を更新して再表示します。	

9.11.2 「システム設定」タブ

システム設定では、かんたん設定の使用設定や、Web 設定画面の管理設定、メール通知設定を行います。

項目名	内容	備考
かんたん設定	かんたん設定機能の使用を設定します。	OFF/ON
メール通知設定		
メール通知	メール通知機能の使用設定を行います。	OFF/ON
SMTP サーバ *1	メール送信サーバのアドレスを入力します。	
SMTP ポート	メール送信サーバの接続ポートを設定します。 ※SMTP ポートの選択により以下の値が設定されます。 ・”標準” 選択時は 25 (SSL 使用時は 465)に設定されます。 ・”カスタムポート番号”選択時は「ポート番号」の入力値に設定されます。	
ポート番号		
認証	メール送信時 SMTP 認証の使用有無を選択します。	OFF/ON
認証方法 *2	SMTP 認証の認証方法を選択します。 ・MD5 ・プレーンテキスト ・ログイン ・自動	
ユーザ ID *2	SMTP 認証におけるユーザ ID を入力します。	
パスワード *2	SMTP 認証におけるパスワードを入力します。	
SSL	本文 SSL 暗号化送信の使用有無を選択します。	OFF/ON
通知先メールアドレス *1	通知先のメールアドレスを入力します。	
通知情報	通知する情報をチェックリストで選択します。 ※チェックを入れた項目の内容が発生した際に通知先メールアドレス宛にメールが送信されます。 ・ネットワーク障害 ・外線通話 ・レジスト切れ ・証明書期限切れ警告 ・アタック検知	

項目名		内容	備考
Web 設定			
	Web 設定ポート	Web 設定画面の表示ポートを入力します。	初期値:8080
	管理者 ID	ログイン時の ID を入力します。	初期値:admin
	管理者パスワード	ログイン時のパスワード変更します。	
	管理者パスワード確認	ログイン時のパスワード変更します。	
設定		変更内容を確定します。 確定後、「設定反映」ボタンにて主装置に反映されます。	

*1 「メール通知」が ON の場合、入力必須の項目です。

*2 「認証」が ON の場合、入力必須の項目です。

9.11.3 「時刻設定」タブ

時刻設定では、本装置の時刻設定および自動時刻補正の設定を行います。また、「システム未使用時刻」をおいてシステムが重要な通信を行っていない時刻を設定し、自動ファームアップの時刻や DHCP の再リース時間の設定に使用します。

項目名		内容	備考
時刻設定			
	自動時刻補正 *1	自動時刻補正機能の使用設定を選択します。 ※自動時刻設定が ON の場合、定期的に NTP サーバより時刻情報を受け取り、補正を行います。	OFF/ON
	NTP サーバ *1	NTP サーバのアドレスを入力します。	
	現在時刻 *1	現在の時刻を表示します。	
	時刻設定 *1	時刻を変更します。 ※自動時刻補正機能が ON の場合、本項目で時刻設定を行っても補正が行われます。	
システム未使用時刻設定			
	システム未使用時刻	システムで使用していない時刻を設定します。	00 時 00 分～ 23 時 59 分
設定		入力内容で時刻設定を更新します。 確定後、「設定反映」ボタンにて主装置に反映されます。	

*1「基本設定」では表示されない項目です。

★ 注意

自動時刻補正 ON の状態で NTP サーバに接続できない場合、本装置の起動に時間がかかる場合があります。

9.11.4 「共有アドレス帳」タブ

共有アドレス帳では、共有アドレス帳と内線電話帳の使用設定および共有アドレス帳編集機能の設定を行います。

項目名		内容	備考
共有アドレス帳設定			
	共有アドレス帳設定	共有アドレス帳と内線電話帳の使用設定を行います。 ※OFF に設定すると、共有アドレス帳と内線電話帳が表示されなくなり、共有アドレス帳の追加や編集もできなくなります。	OFF/ON
	共有アドレス帳ポート	共有アドレス帳と内線電話帳の接続ポートを入力します。 ※初期値から変更すると、AI多機能電話機に共有アドレス帳と内線電話帳が表示されなくなります。	初期値:389
	共有アドレス帳 Web ポート	共有アドレス帳の編集 Web ページのポートを入力します。	初期値:80
共有アドレス帳管理			
	共有アドレス帳のダウンロード	共有アドレス帳をファイルに保存します。	
	共有アドレス帳のアップロード	アドレス帳ファイルを読み込み、共有アドレス帳に反映します。反映後、本装置の再起動を行なってください。	
共有アドレス帳編集許可ユーザリスト			
	No.	編集許可ユーザの通し番号を表示します。	
	ID	編集許可ユーザのログイン ID を表示します。	
	編集	編集許可ユーザの編集画面を表示します。	
	削除	編集許可ユーザを削除します。	
電話帳編集許可ユーザを新規追加		編集許可ユーザの追加画面を表示します。	

9.11.4.1 電話帳編集許可ユーザの新規追加および編集

「電話帳編集許可ユーザを新規追加」のリンクを選択すると、編集許可ユーザの追加画面を表示します。また、編集許可ユーザ一覧から「編集」を選択すると編集許可ユーザの編集画面を表示します。

項目名		内容	備考
共有アドレス帳編集許可ユーザ追加			
	ID	編集許可ユーザのログインIDを入力します。	4～16 文字
	パスワード	編集許可ユーザのパスワードを入力します。	4～16 文字
	パスワード(確認)	編集許可ユーザのパスワードを入力します。	確認用再入力
追加 (新規追加時に表示)		入力内容で編集許可ユーザに追加します。 追加確定後、「設定反映」ボタンにて主装置に反映されます。	
更新 （編集時に表示）		入力内容で編集許可ユーザを更新します。 更新確定後、「設定反映」ボタンにて主装置に反映されます。	
戻る		入力内容を破棄し、「共有アドレス帳」画面に戻ります。	

9.11.4.2 電話帳編集許可ユーザの削除

電話帳編集許可ユーザ一覧から「削除」ボタンを押すと、選択した編集許可ユーザが削除されます。削除後、「設定反映」ボタンにて設定が反映されます。

★ 注意

ユーザ設定を間違って削除しないように、操作は慎重に行ってください。設定操作を行う前に「システム」メニューの「設定管理」にて、設定ファイルのダウンロードを行うことをお勧めします。詳しくは「9.11.5 「設定管理」タブ」を参照ください。

なお、間違って削除した場合、設定を反映する前であれば、「ログアウト」メニューを選択すると削除前の状態に戻ります。

9.11.5 「設定管理」タブ

設定管理では、設定ファイルのダウンロードおよびアップロードを実施できます。

項目名		内容
設定管理		
	設定ファイルのダウンロード	「ダウンロード」ボタンを押すと、本装置の設定をファイルに保存します。
	設定ファイルのアップロード *1	設定ファイルの設定を本装置に反映します。 ※「参照」ボタンにて保存していた設定ファイルを選択後、「アップロード」を押すと、ファイルの設定内容が本装置に設定されます。 アップロード完了後、「設定反映」ボタンにて設定が反映されます。
	共有アドレス帳以外の工場出荷時設定 *2	共有アドレス帳以外の設定を工場出荷時の状態に初期化します。 ※「初期化１」ボタンを押すと、確認メッセージが表示されます。確認メッセージで OK を押すと、初期化が開始されます。
	工場出荷時設定 *2	全ての設定を工場出荷時の状態に初期化します。 ※「初期化２」ボタンを押すと、確認メッセージが表示されます。確認メッセージで OK を押すと、初期化が開始されます。

*1 設定ファイルのアップロードを行うと、これまでの設定内容が破棄され、設定ファイルの内容に変更されます。間違った内容をアップロードしないように、操作は慎重に行ってください。

なお、間違って実行した場合、設定を反映する前であれば、「ログアウト」メニューを選択するとアップロード前の状態に戻ります。

*2 「基本設定」では表示されない項目です。

☆ ポイント

設定ファイルは設定画面上の設定項目を全て保存します。ただし、外線番号についてはアップロード後改めて登録が行われますので、以下の項目に表示される外線電話番号が変更となる場合があります。

- 内線端末の編集における「外線発信番号」
  （「IP 電話設定」メニュー「端末設定」タブ）
- 着信設定における「外線端末番号」
  （「IP 電話設定」メニュー「着信設定」タブ）

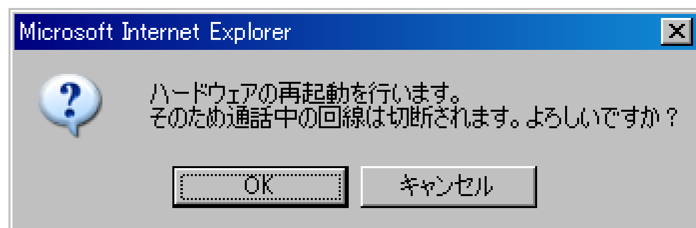
★ 注意

- 初期化を実施すると、これまで設定していた項目は元に戻すことはできませんので、操作は慎重に行ってください。操作を行う前に設定ファイルのダウンロードを行うことをお勧めします。
- 工場出荷時設定にて初期化を実施すると、共有アドレス帳の登録内容も併せて削除されます。操作を行う前に「システム」メニューの「共有アドレス帳」にて、共有アドレス帳のバックアップを行うことをお勧めします。詳しくは「9.11.4 「共有アドレス帳」タブ」を参照ください。
- 初期化を実施すると本装置が再起動しますが、かんたん設定にて接続した端末は自動的に再起動しません。端末毎に再起動操作が必要となります。

9.11.6 「再起動」タブ

再起動では、本装置の再起動が実施できます。

「再起動」ボタンを押すと、以下の確認メッセージが表示されます。「OK」ボタンを押すと本装置が再起動します。



★ 注意

- 再起動中は電話機能が使用できませんのでご注意ください。
- 再起動を行うと、かんたん設定で接続したAI多機能電話機及び AI-VOIP-TA も同時に再起動します。
- 時刻設定がされていない場合、本装置の起動に時間がかかる場合があります。

9.11.7 「ファーム更新」タブ

ファーム更新では、本装置のファームウェア更新およびAI多機能電話機、AI-VOIP-TAのファームウェア更新を実施できます。

項目名		内容
ファームウェアアップデート		
	ファームウェアアップデート	SC(システムコントローラ)のファームウェアを更新します。「参照」ボタンにてファームウェアのファイルを選択後「アップデート」ボタンを押すと、アップデートを開始します。
電話機ファームウェアアップデート		AI多機能電話機、AI-VOIP-TA のファームウェアを更新します。
	電話機の一括アップデート	AI多機能電話機、AI-VOIP-TA のアップデートを開始します。「アップデート」ボタンを押すと、本装置に準備したファームウェアをAI多機能電話機、AI-VOIP-TAに書き込みを行います。
	IP 電話機のファームバージョン	本装置に準備されたAI多機能電話機のファームウェアバージョンを表示します。
	IP 電話機のファームウェア	AI多機能電話機のファームウェアを本装置に準備します。「参照」ボタンにてファームウェアのファイルを選択後「アップロード」ボタンを押すと、アップロードを行ないます。
	VoIP-TA のファームバージョン	本装置に準備された AI-VOIP-TA のファームウェアバージョンを表示します。
	VoIP-TA のファームウェア	AI-VOIP-TA のファームウェアを本装置に準備します。「参照」ボタンにてファームウェアのファイルを選択後、「アップロード」を押すと、アップロードを行ないます。

9.11.7.1　本装置のファームウェア更新方法

本装置のファームウェアについて、以下の手順にて更新を行います。

※ ファームウェアを予めパソコンに保存している状態とします。

1. 「システム」メニューの「ファーム更新」タブを表示します。
2. 「ファームウェアアップデート」の「参照」ボタンを押し、パソコンに保存していたファームウェアを選択します。
3. 「アップデート」ボタンを押します。以下の確認メッセージにて「OK」を押すとアップデートが開始されます。



★ 注意

ファームウェアのアップデート中は LAN 接続、WAN 接続が切断されます。アップデート中は通話動作が出来ませんのでご注意ください。

9.11.7.2　AI多機能電話機およびAI-VOIP-TAの一括アップデート方法

かんたん設定で接続したAI多機能電話機および AI-VOIP-TA について、本装置から一括でファームウェアのアップデートを行うことができます。

※ AI多機能電話機および AI-VOIP-TA のファームウェアを予めパソコンに保存している状態とします。

1. 「システム」メニューの「ファーム更新」タブを表示します。
2. 「IP 電話機のファームウェア」の「参照」ボタンを押し、パソコンに保存していたAI多機能電話機のファームウェアを選択します。
3. 「IP 電話機のファームウェア」の「アップロード」ボタンを押します。アップロードに成功すると、「IP 電話機のファームバージョン」にファームウェアのバージョンが表示されます。
4. 「VoIP-TA のファームウェア」の「参照」ボタンを押し、パソコンに保存していたAI-VOIP-TA のファームウェアを選択します。
5. 「VoIP-TA のファームウェア」の「アップロード」ボタンを押します。アップロードに成功すると、「VoIP-TA のファームバージョン」にファームウェアのバージョンが表示されます。

6. 「電話機の一括アップデート」の「アップデート」ボタンを押します。以下の確認メッセージにて「OK」を押すとアップデートが開始されます。



★ 注意

ファームウェアのアップデート中は LAN 接続、WAN 接続が切断されます。アップデート中は通話動作が出来ませんのでご注意ください。

9.11.8 「ログ」タブ

ログでは、各種ログの表示とログファイルのファイル保存を実施します。

項目名		内容	備考
ログ管理			
	ログ選択	表示やダウンロードを行うログの種類を表示します。 ・ ネットワーク障害ログ ・ 外線通話ログ ・ レジスト状況ログ ・ 証明書期限切れ警告ログ ・ アタック検知ログ	
	ダウンロード	現在選択されているログをテキスト形式で保存します。	
	（ログ表示スペース）	現在選択されているログを表示します。	
	更新	現在選択されているログを最新の状態に更新し、ログ表示スペースに表示します。	

9.11.9 「SDDNS」タブ

SDDNS では、SDDNS サーバへの接続に必要となる証明書の登録を行います。

項目名		内容	備考
SDDNS クライアント証明書アップロード			
	証明書のアップロード	本装置に登録する証明書を設定します。 ※「参照」ボタンを押してパソコン上の証明書ファイルを選択します。	
	証明書のパスフレーズ	登録する証明書のパスフレーズを入力します。	
設定		設定の変更を確定します。 確定後、「設定反映」ボタンにて設定が反映されます。	

● SDDNS(Secure Dynamic Domain Name System)について

WAN の接続において動的な IP を取得している場合、SDDNS を使用してサポートセンターと接続し、ドメイン名の設定を行うことが出来ます。DDNS では成りすまし等の問題がありますが、接続を暗号化し、改ざんを防ぐことによりセキュアな設定が可能となります。

10 共有アドレス帳

本装置には、システムに登録された端末全体の情報を管理する共有アドレス帳・内線電話帳機能を搭載しています。システム内のパソコンからWebブラウザでSC（システムコントローラ）に接続することにより、内容の確認・編集及びアドレス帳からの発信、電子メールソフトの起動を行うことができます。

10.1 アドレス帳の機能

- 共有アドレス帳に登録されている発信元からの電話が着信したときに、電話機上に発信元情報を表示します。
- IP 電話機、MFP から共有アドレス帳を参照し、宛先を選んで発信することができます。
- 共有アドレス帳のデータを他のアプリケーションなどに移行可能な形式で出力することができます。（Web 設定画面から実施します）
- 複数のSC（システムコントローラ）が連携して機能する場合、共有アドレス帳の同期を自動的に行います。

10.2 共有アドレス帳および内線電話帳の表示

本装置のネットワークに接続したパソコンから、Web ブラウザを使用してアドレス帳画面を表示します。

● アドレス帳画面表示の URL

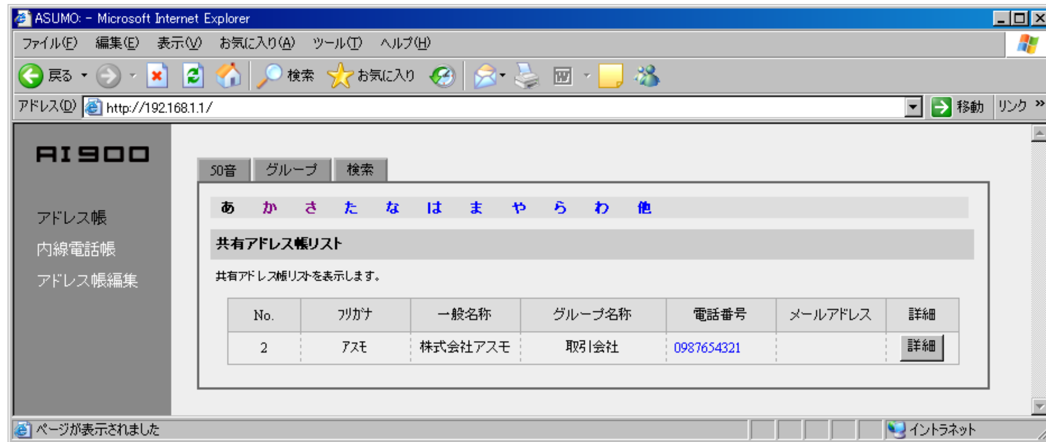
（SC（システムコントローラ）の LAN 側 IP アドレスが 192.168.1.1 の場合）

http://192.168.1.1/

画面表示において、ユーザの制限はありません。

10.2.1 アドレス帳画面の構成

ブラウザの画面左側にメニューが表示され、メニューをクリックすると、その項目の画面右側に表示されます。



● **メニュー項目の一覧**

メニュー項目	内容	参照
アドレス帳	共有アドレス帳を表示します。	
内線電話帳	SC(システムコントローラ)に登録されている内線電話の一覧を表示します。 ・ 表示形式は共有アドレス帳と同じですが、詳細表示はありません。 ・ 内線電話帳画面から編集はできません。編集を行なう場合は、SCの設定画面にて編集を行います。	
アドレス帳編集	共有アドレス帳の編集を行います。 ・ アドレス帳の編集には、アドレス帳編集許可ユーザの ID とパスワードが必要です。	10.3「共有アドレス帳の編集」メニュー

10.2.2　共有アドレス帳および内線電話帳画面の構成

メニューから「アドレス帳」または「内線電話帳」を選択すると、選択したアドレス帳の一覧画面が表示されます。

アドレス帳はさらに「50 音」、「グループ」、「検索」のタブが表示され、表示形式を選択することができます。

● 「50 音」タブの表示

「50 音」タブでは登録されたアドレスの「フリガナ」を元に 50 音順にアドレスを表示します。「50 音」タブ内で更にフリガナの先頭文字で「あ」「か」…「ら」「わ」の各行と「他」の項目に分けて表示されます。

☆ ポイント

「50 音」タブ表示直後は「あ」行が表示されます。

50音 グループ 検索

あ か さ た な は ま や ら わ 他

共有アドレス帳リスト

共有アドレス帳リストを表示します。

No.	フリガナ	一般名称	グループ名称	電話番号	メールアドレス	詳細
2	アスモ	株式会社アスモ	取引先	0987654321		詳細

● 「グループ」タブの表示

「グループ」タブでは登録されたアドレスの「グループ」を元にグループ別にアドレスを表示します。グループリストからグループを選択すると、グループに登録されたアドレスが一覧で表示されます。

☆ ポイント

グループが設定されていないアドレスは、「グループ名称無し」を選択すると一覧に表示されます。

「グループ」タブ表示直後は「グループ名称無し」が表示されます。

50音 グループ 検索

グループリスト: グループ名称無し

共有アドレス帳リスト

共有アドレス帳リストを表示します。

No.	フリガナ	一般名称	グループ名称	電話番号	メールアドレス	詳細
1	サンプルイチ	Sample1		0123456789		詳細

● 「検索」タブの表示

「検索」タブでは「検索ワード」欄に文字列を入力して検索すると、「ﾌﾘｶﾞﾅ」、「一般名称」、「グループ名称」から検索に適合するアドレスを表示します。

☆ ポイント

「検索」タブ表示直後は全てのアドレスが表示されます。

50音 グループ 検索

共有アドレス帳検索

共有アドレス帳の検索を行います。

検索ワード :

検索

No.	ﾌﾘｶﾞﾅ	一般名称	グループ名称	電話番号	メールアドレス	詳細
1	ｻﾝﾌﾟﾙｲﾁ	Sample1		0123456789		詳細
2	ｱｽﾓ	株式会社アスモ	取引先	0987654321		詳細

10.2.3 アドレス一覧の表示内容

アドレス帳の各タブ内で表示されるアドレスについて、以下の項目で一覧表示されます。各アドレスの詳細内容を表示する場合は、「詳細」ボタンを押します。

項目名	内容	備考
No.	アドレスの通し番号を表示します。	
ﾌﾘｶﾞﾅ	アドレス名称のフリガナを表示します。	
一般名称	アドレス名称を表示します。	
グループ名称	登録ループの名称を表示します。	
電話番号	電話番号を表示します。 ・ 共有アドレス帳において、複数の電話番号が登録されている場合は、電話番号 1 の番号が表示されます。 ・ パソコンにソフトフォンを搭載している場合は、電話番号を選択すると電話をかけることができます。	
メールアドレス	アドレスのメールアドレスを表示します。 ・ メールアドレスを選択すると、登録されたメールアドレス宛の設定でメールソフトを起動します。	
詳細 (共有アドレス帳にて表示)	アドレス詳細画面を表示します。	「10.2.4 アドレス詳細画面の表示内容」を参照
ユーザ ID (内線電話帳にて表示)	内線電話の設定に必要なユーザ ID を表示します。	

10.2.4　アドレス詳細画面の表示内容

共有アドレスの「詳細」ボタンを押すと、アドレスの詳細画面が表示されます。

50音　グループ　検索

共有アドレス帳詳細

共有アドレス帳の詳細を表示します。

フリガナ　：　アスモ
一般名称　：　株式会社アスモ
グループ名称　：　取引先
電話番号1　：　0987654321
電話番号2　：　0987654322
電話番号3　：　0987654323
電話番号4　：　0987654324
FAX番号　：
メールアドレス　：
住所　：

編集　戻る

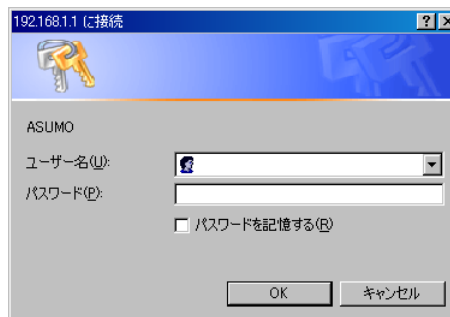
項目名	内容	備考
フリガナ	アドレス名称のフリガナを表示します。	
一般名称	アドレス名称を表示します。	
グループ名称	登録グループの名称を表示します。	
電話番号 1	電話番号を表示します。	パソコンにソフトフォンを搭載している場合は、電話番号を選択すると電話をかけることができます。
電話番号 2		
電話番号 3		
電話番号 4		
FAX 番号	電話番号(FAX 用)を表示します。	
メールアドレス	メールアドレスを表示します。	メールアドレスを選択すると、登録されたメールアドレス宛の設定でメールソフトを起動します。
住所	住所を表示します。	
編集	ログイン画面表示後、選択アドレスの編集画面を表示します。 ・ アドレス帳の編集には、アドレス帳編集許可ユーザの ID とパスワードが必要です。	「10.3.4 「追加」タブおよびアドレス編集画面」を参照
戻る	前の画面に戻ります。	

10.3 共有アドレス帳の編集

共有アドレス帳を変更する場合は、アドレス帳編集許可ユーザとして、SC（システムコントローラ）の設定画面にログインします。

- アドレス帳編集画面に遷移する方法は以下の通りです。以下の操作を行うと、パスワード入力画面が表示されます。

  - アドレス帳画面表示から「アドレス帳編集」メニューを選択します。
  - URL から共有アドレス帳編集画面を表示します。
    （SC（システムコントローラ）の LAN 側 IP アドレスが 192.168.1.1 の場合）
    http://192.168.1.1/address/
  - 共有アドレスの詳細表示画面から「編集」を選択します。（パスワード入力後、選択したアドレスの編集画面が表示されます。）



- アドレス帳編集ユーザ名とパスワード

項目	工場出荷時の設定
ユーザ ID	address
パスワード	user

☆ ポイント

・SC（システムコントローラ）の設定管理者の ID とパスワードを使用しても、共有アドレス帳を設定する ことができます。

・SC（システムコントローラ）の設定画面から、アドレス帳編集許可ユーザの編集、追加が可能です。 詳しくは「8.6.3 「共有アドレス帳」タブ」または「9.11.4 「共有アドレス帳」タブ」を参照ください。

10.3.1　共有アドレス帳編集画面の構成

ブラウザの画面左側にメニューが表示され、メニューをクリックすると、その項目の画面右側に表示されます。

● メニュー項目の一覧

メニュー項目	内容	備考
アドレス帳編集	共有アドレス帳を表示、および新規アドレスの登録画面を表示します。	
ログアウト	共有アドレス帳の編集を終了します。	

10.3.2　共有アドレス帳画面の構成

メニューから「アドレス帳編集」メニューが選択されており、アドレス帳の一覧画面が表示されます。

アドレス帳はさらに「50 音」、「グループ」、「検索」と「追加」のタブが表示され、表示形式を選択することができます。

「50 音」、「グループ」、「検索」の表示形式についてはアドレス帳表示画面と同じです。詳しくは「10.2.2　共有アドレス帳および内線電話帳画面の構成」を参照ください。また、「追加」タブではアドレスを新規追加します。詳しくは「10.3.4 「追加」タブおよびアドレス編集画面」を参照ください。

10.3.3 共有アドレス帳一覧の表示内容

アドレス帳編集の各タブ内で表示されるアドレスについて、以下の項目で一覧表示されます。アドレスを編集する場合は、「編集」ボタンを押します。

項目名	内容	備考
No.	アドレスの通し番号を表示します。	
ﾌﾘｶﾞﾅ	アドレス名称のフリガナを表示します。	
一般名称	アドレス名称を表示します。	
グループ名称	登録ループの名称を表示します。	
電話番号	電話番号を表示します。 ・ 共有アドレス帳において、複数の電話番号が登録されている場合は、電話番号 1 の番号が表示されます。 ・ パソコンにソフトフォンを搭載している場合は、電話番号を選択すると電話をかけることができます。	
メールアドレス	メールアドレスを表示します。 ・ メールアドレスを選択すると、登録されたメールアドレス宛の設定でメールソフトを起動します。	
編集	アドレス編集画面を表示します。	「10.3.4 「追加」タブおよびアドレス編集画面」を参照
削除	アドレスを削除します。	「10.3.5 アドレスの削除」を参照

10.3.4 「追加」タブおよびアドレス編集画面

共有アドレス編集の「追加」ボタンを押すと、アドレスの新規追加画面が表示されます。また、各アドレス表示から「編集」ボタンを押すと、アドレスの編集画面が表示されます。

項目名	内容	備考
ﾌﾘｶﾞﾅ	アドレス名称のフリガナを入力します。	必須項目
一般名称	アドレス名称を入力します。	必須項目
グループリスト	登録グループを選択します。 ・すでに登録されているグループを選択する場合は、リストからグループ名を選択します。 ・新しいグループを作成する場合は「新規グループを追加」を選択します。	
グループ新規追加	「グループリスト」欄にて「新規グループを追加」を選択した場合、新規グループの名称を入力します。	
電話番号 1 電話番号 2 電話番号 3 電話番号 4	電話番号を入力します。 ・ パソコンにソフトフォンを搭載している場合は、電話番号を選択すると電話をかけることができます。	一つ以上必須 ※未入力の番号は詰めて登録される
FAX 番号	電話番号を入力します。(FAX 用)	
メールアドレス	メールアドレスを入力します。	
住所	住所を入力します。	
追加 (「追加」タブ選択時)	入力内容でアドレスを追加します。	

10.3.5 アドレスの削除

アドレスの一覧から「削除」ボタンを押すと、選択したアドレスが削除されます。

★ 注意

削除したアドレスは元に戻すことはできませんので、操作は慎重に行ってください。

11 主な仕様

最大外線数	8ch	
最大内線端末数	50台	
LAN インターフェース	RJ-45 接続コネクタ	
（WAN 側）	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T	自動速度切替
LAN インターフェース	RJ-45 接続コネクタ	
（LAN 側）	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T	自動速度切替
寸法　幅×奥行×高さ	約45mm×約210mm×約230mm	据置台や突起部を除く
質量	約0．7kg	電源アダプタを除く
定格電圧	DC12V	
定格電流	約500mA	
使用環境	温度　0℃～40℃	
	湿度　20%～80%	結露のないこと

● 仕様および外観は、性能改善等により予告なく変更する場合があります。

12 お問い合わせについて

製品についてのご相談や取り扱い方法等についてご不明の点がございましたら、下記のテクニカルサポートへお問い合わせください。

■テクニカルサポート

受付時間　9:00～18:00(土・日・祝日を除く)

電話　0120－183－808

FAX　042－707－4827

アノア ホームページ http://anoa.asumo-inc.com/

※ アノア・ホームページでは、各種製品の最新の情報などを提供しております。
本製品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧頂くことをお勧め致します。

製造元：株式会社アスモ

〒108-0074 東京都港区高輪二丁目 18 番 10 号 日石高輪ビル 10 階

2009 年 11 月　 第 2.0 版